

令和元年度第4期鶴見区地域福祉保健計画

区民アンケート調査

---

## 調査結果報告書

令和元年 11 月  
横浜市鶴見区

第1章 アンケート調査の概要 .....	4
1. 調査の目的.....	4
2. 調査の方法.....	4
3. 回答者の属性.....	5
第2章 アンケート調査結果 .....	8
1. 「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」について .....	8
① あなたは「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」を知っていますか?(単数回答).....	8
○年代ごとの「鶴見・あいねっと」の認知度 クロス分析[①×年代].....	8
2. 「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「地域ケアプラザ」について .....	9
②-1 あなたは「民生委員・児童委員」を知っていますか?(単数回答).....	9
○年代ごとの「民生委員・児童委員」の認知度 クロス分析[②-1×年代] .....	9
②-2 あなたは「地区社会福祉協議会」を知っていますか?(単数回答).....	10
○年代ごとの「地区社会福祉協議会」の認知度 クロス分析[②-2×年代].....	10
②-3 あなたは「地域ケアプラザ」を知っていますか?(単数回答).....	11
○年代ごとの「地域ケアプラザ」の認知度 クロス分析[②-3×年代].....	11
3. 近所との関わりについて .....	12
③-1 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか?(単数回答).....	12
○【参考】9 エリアごとの近所の人との関わりの程度 クロス分析[③-1×居住地区].....	12
○年代ごとの「近所との関わり」の程度 クロス分析[③-1×年代].....	13
○年代ごとのまったく付き合いはない割合 クロス分析[③-1「まったく付き合いはない」×年代] .....	13
③-2 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いを望みますか?(単数回答).....	14
○年代ごとの希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[③-2×年代] .....	14
○現在、「近所の人と付き合うつもりはない」人が、希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[③-1「ま たたく付き合いはない」×③-2.....	14
③-3 災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築けている ことが必要だと思いますか?(単数回答) .....	15
③-4 日頃からお互いの関係づくりができるためには、どのようなことが必要だと思いますか?(○はいくつで も)(複数回答).....	15
4. 周囲の方と交流する頻度について .....	16
④ 同居家族以外(近所の方や友人、職場の人等)と会うなどして交流する頻度はどれくらいですか?(単数 回答) .....	16
○年代ごとの「周囲の方と交流」の頻度 クロス分析[④×年代].....	16
5. 不安や悩みの相談先について .....	17
⑤ あなたは不安や悩みを主に誰に相談していますか?(○はいくつでも)(複数回答) .....	17
○年代ごとの、不安や悩みの相談先 クロス分析 [⑤×年代].....	17
6. 地域活動への参加状況について .....	18

⑥-1 あなたはご近所や区内で行われている次のような活動に参加していますか？(単数回答).....	18
○地域活動への参加状況.....	18
○【参考】9 エリアごとの地域活動への参加状況 クロス分析[⑥-1[参加状況]×居住地区].....	19
○年代ごとの「地域活動」参加状況 [⑥-1[参加状況]×年代].....	20
○性別ごとの「地域活動」参加状況 [⑥-1[参加状況]×性別].....	20
○近所の人との付き合いごとの「地域活動」参加状況 [⑥-1[参加状況]×③-1].....	21
⑥-2 活動に参加したきっかけは何ですか？(⑥-1で「参加している」を1つでも選択した人限定)(複数回答).....	21
⑥-3 活動に参加してよかったと思うことは何ですか？(⑥-1で「参加している」を1つでも選択した人限定)(複数回答).....	22
⑥-4 どのような状況であれば活動に参加しやすいですか？(⑥-1で「今は参加していないが、今後は参加してみたい」を1つでも選択した人限定)(複数回答).....	22
<b>7. 地域の情報を得る方法について.....</b>	<b>23</b>
⑦ 地域の情報を得る方法として、これから利用したいと思うものは何ですか？(○はいくつでも)(複数回答).....	23
○【参考】9 エリアごとの地域の情報を得る方法の割合 [クロス分析⑦×居住地区].....	23
○年代ごとの「地域の情報を得る方法」 [クロス分析⑦×年代].....	24
<b>8. 地域での必要な支援について.....</b>	<b>25</b>
⑧-1 あなたは近所で手伝いをしてもらいたいことはありますか？(○はいくつでも)(複数回答).....	25
○年代ごとの、近所で手伝いをしてもらいたい内容 [⑧-1×年代].....	25
⑧-2 あなたは近所の困っている人にどのような手伝いができると思いますか？(○はいくつでも)(複数回答).....	26
⑧-3 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？(○は5つまで)(複数回答).....	27
○【参考】9 エリアごとの地域が住みやすくなるために充実すると良いと思う内容 [クロス分析⑧-3×居住地区].....	27
⑧-4 地域の中で、あったらいいなと思う交流の場について教えてください。(○は3つまで) (複数回答).....	28
○【参考】9 エリアごとのあったらいいなと思う交流の場の内容 [クロス分析⑧-4×居住地区].....	28
○年代ごとの「あったらいいなと思う交流の場」の内容 [⑧-4×年代].....	29
<b>9. 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて.....</b>	<b>31</b>
⑨-1「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を「多文化共生社会」といいます。「多文化共生のまちづくり」を進めるために、あなたは何かができると思いますか？(○はいくつでも)(複数回答).....	31
○年代ごとの、多文化共生のまちづくりを進めるために、自分ができると思うこと クロス分析[⑨-1×年代].....	31
⑨-2 鶴見区では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な取組を行っています。あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか。(○はいくつでも)(複数回答).....	32
<b>10. 心と体の健康などについて.....</b>	<b>33</b>
⑩-1 あなたは今幸せだと思いますか？(単数回答).....	33

⑩-2 あなたはご自身のことを健康だと思いますか？(単数回答).....	33
○近所付き合いの程度ごとの健康観 クロス分析[⑩-2×③-1].....	34
○健康観ごとの、地域活動参加状況 [⑩-2×⑥-1「何らかに参加している」].....	34
⑩-3 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか？(単数回答).....	35
⑩-4 あなたはこの1年間に歯科健診を受けましたか？(単数回答).....	35
<b>第3章 第4期鶴見区地域福祉保健計画」の策定にむけた考察.....</b>	<b>36</b>
1. 「つながりのある地域づくり」にむけた考察.....	36
2. 「必要な人に支援が届くしくみづくり」にむけた考察.....	36
3. 「健やかに暮らせる地域づくり」にむけた考察.....	37
■ 資料編.....	37

## 第 1 章 アンケート調査の概要

---

### 1. 調査の目的

第 4 期鶴見区地域福祉保健計画の策定にあたり、区民の現状や意向を把握し、地域福祉保健計画へ反映していくための基礎資料とすることを目的に実施しました。

### 2. 調査の方法

調査の対象者、期間、配布・回収方法、回収率は以下の通りです。

調査対象	住民基本台帳から、鶴見区内に在住する満 20 歳以上の方 2,000 人を外国人を含めて無作為抽出
調査期間	2019 年 8 月 7 日～9 月 13 日
配布・回収方法	郵送による発送・回収
回収票	993 票
回収率	49.65%
有効回答票※	992 票
有効回答率	49.60%

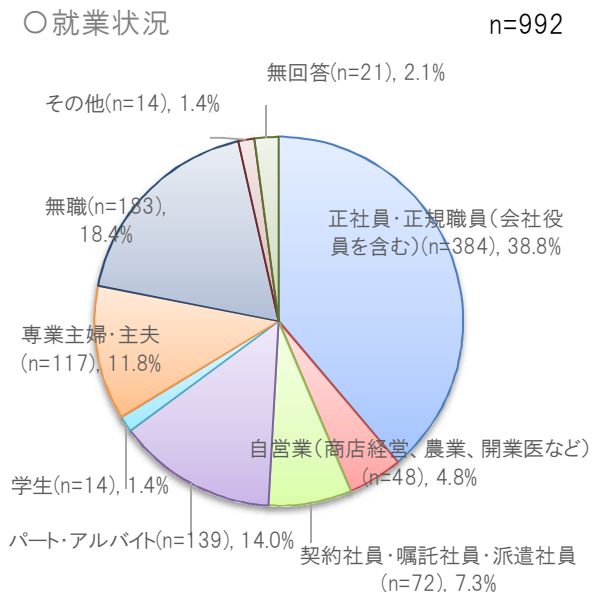
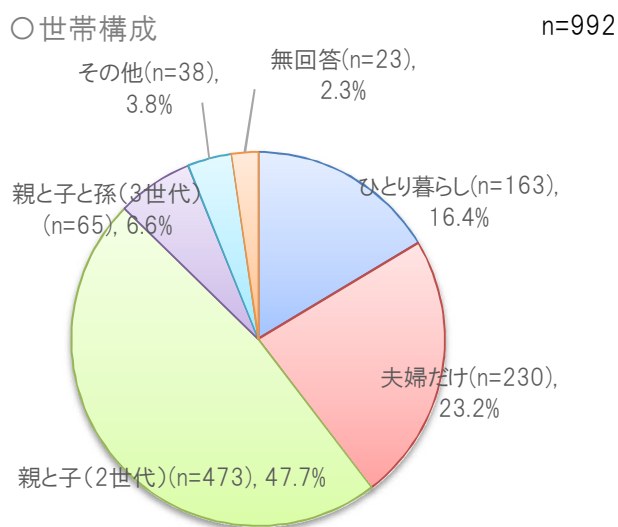
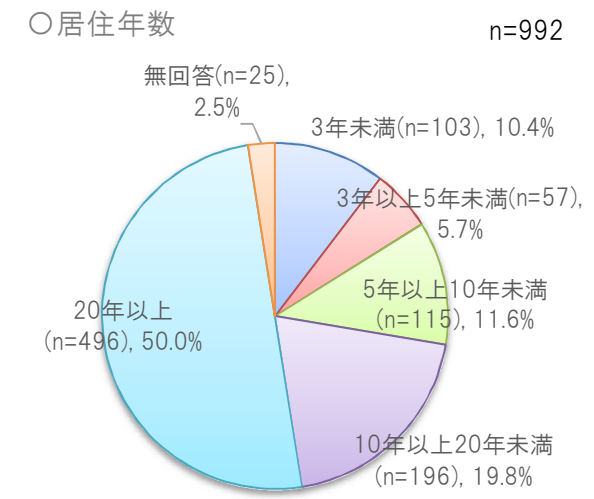
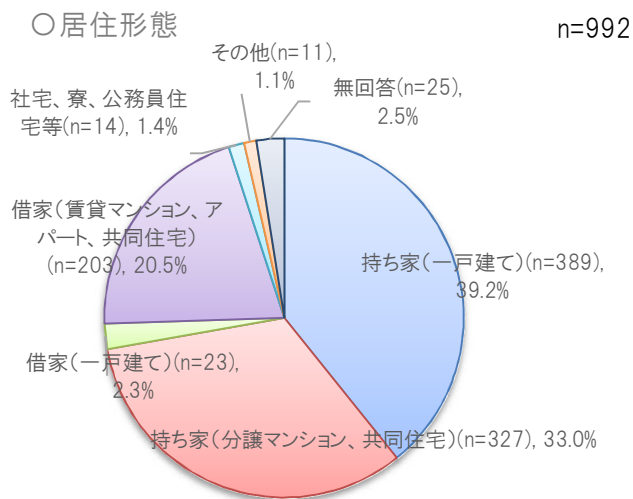
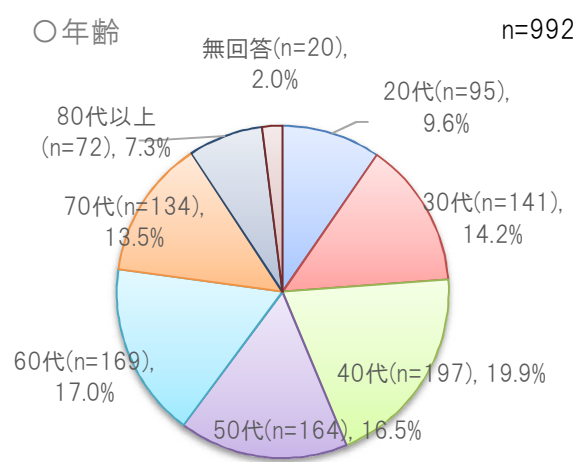
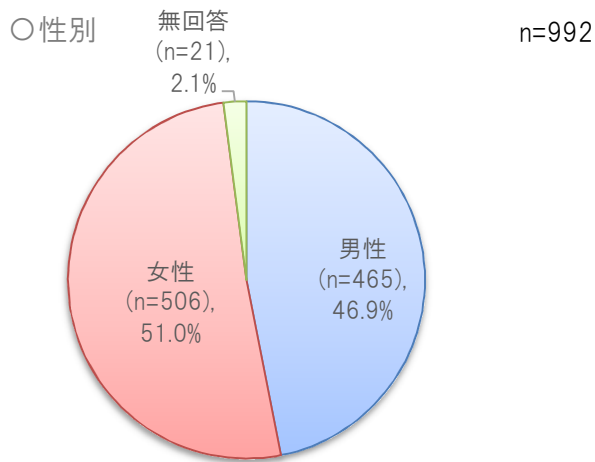
※全問無回答のアンケート票を除いた票

#### 【留意事項】

- 設問には 1 つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、割合の合計は 100%を超えます。
- 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位まで表示しています。小数点の表示のないものは、小数第 1 位を四捨五入しています。
- グラフに表示されている「n」は回答者数を表しています。全員を対象とする設問については「n」は 992 となっています。回答者を限定する設問においては「n」の値が変わります。
- 年代や性別などの回答者属性とのクロス集計を行うものについて、回答者属性の回答がないものについて表示していない場合があります。この場合、表示されている「n」の合計は 992 にはなりません。
- 各ケアプラザエリアごとの結果については、回答数に差異があるため、参考資料としてご利用ください。

### 3. 回答者の属性

回答者の属性は以下の通りです。



○居住地別の回答者割合(町丁別)

NO	あ～こ	(%)	NO	さ～な(か)	(%)	NO	な(ま)～や	(%)
1	朝日町 1 丁目	0.3	44	栄町通 1 丁目	0.2	88	生麦一丁目	0.7
2	朝日町 2 丁目	1.4	45	栄町通 2 丁目	0.4	89	生麦二丁目	0.0
3	安善町一丁目	0.0	46	栄町通 3 丁目	0.6	90	生麦三丁目	0.5
4	安善町二丁目	0.0	47	栄町通 4 丁目	0.3	91	生麦四丁目	1.7
5	市場上町	1.3	48	汐入町 1 丁目	0.4	92	生麦五丁目	1.0
6	市場下町	0.9	49	汐入町 2 丁目	0.4	93	馬場一丁目	0.6
7	市場西中町	0.8	50	汐入町 3 丁目	0.1	94	馬場二丁目	1.0
8	市場東中町	0.4	51	獅子ヶ谷一丁目	1.4	95	馬場三丁目	0.6
9	市場富士見町	0.5	52	獅子ヶ谷二丁目	0.9	96	馬場四丁目	1.2
10	市場大和町	0.5	53	獅子ヶ谷三丁目	0.2	97	馬場五丁目	0.7
11	潮田町 1 丁目	0.3	54	下野谷町 1 丁目	0.9	98	馬場六丁目	0.5
12	潮田町 2 丁目	0.4	55	下野谷町 2 丁目	0.2	99	馬場七丁目	0.4
13	潮田町 3 丁目	0.2	56	下野谷町 3 丁目	0.4	100	浜町 1 丁目	0.3
14	潮田町 4 丁目	0.4	57	下野谷町 4 丁目	0.4	101	浜町 2 丁目	0.1
15	江ヶ崎町	2.9	58	尻手一丁目	2.0	102	東寺尾一丁目	1.9
16	扇島	0.0	59	尻手二丁目	0.7	103	東寺尾二丁目	0.6
17	小野町	0.6	60	尻手三丁目	0.9	104	東寺尾三丁目	1.1
18	梶山一丁目	0.4	61	下末吉一丁目	0.6	105	東寺尾四丁目	0.6
19	梶山二丁目	0.9	62	下末吉二丁目	0.7	106	東寺尾五丁目	0.7
20	上末吉一丁目	0.8	63	下末吉三丁目	0.1	107	東寺尾六丁目	0.9
21	上末吉二丁目	1.0	64	下末吉四丁目	0.7	108	東寺尾北台	0.6
22	上末吉三丁目	0.4	65	下末吉五丁目	1.0	109	東寺尾中台	1.4
23	上末吉四丁目	0.5	66	下末吉六丁目	1.3	110	東寺尾東台	0.8
24	上末吉五丁目	0.7	67	末広町 1 丁目	0.0	111	平安町 1 丁目	0.9
25	上の宮一丁目	1.1	68	末広町 2 丁目	0.0	112	平安町 2 丁目	0.6
26	上の宮二丁目	0.5	69	菅沢町	0.5	113	弁天町	0.0
27	寛政町	0.3	70	諏訪坂	0.8	114	本町通 1 丁目	0.6
28	岸谷一丁目	1.0	71	大黒町	0.0	115	本町通 2 丁目	0.5
29	岸谷二丁目	0.8	72	大黒ふ頭	0.0	116	本町通 3 丁目	0.4
30	岸谷三丁目	1.3	73	大東町	0.8	117	本町通 4 丁目	0.3
31	岸谷四丁目	1.9	74	佃野町	1.3	118	向井町 1 丁目	0.1
32	北寺尾一丁目	0.6	75	鶴見一丁目	0.7	119	向井町 2 丁目	0.4
33	北寺尾二丁目	0.6	76	鶴見二丁目	0.8	120	向井町 3 丁目	0.3
34	北寺尾三丁目	0.3	77	鶴見中央一丁目	1.4	121	向井町 4 丁目	0.2
35	北寺尾四丁目	1.3	78	鶴見中央二丁目	2.7	122	元宮一丁目	1.2
36	北寺尾五丁目	1.1	79	鶴見中央三丁目	1.8	123	元宮二丁目	0.7
37	北寺尾六丁目	0.7	80	鶴見中央四丁目	1.1	124	矢向一丁目	1.1
38	北寺尾七丁目	0.7	81	鶴見中央五丁目	0.7	125	矢向二丁目	0.8
39	駒岡一丁目	1.3	82	寺谷一丁目	0.6	126	矢向三丁目	0.7
40	駒岡二丁目	0.6	83	寺谷二丁目	0.8	127	矢向四丁目	0.8
41	駒岡三丁目	1.6	84	豊岡町	1.4	128	矢向五丁目	1.3
42	駒岡四丁目	2.5	85	仲通 1 丁目	0.0	129	矢向六丁目	0.3
43	駒岡五丁目	0.9	86	仲通 2 丁目	0.3		無回答	5.6
			87	仲通 3 丁目	0.1			

○地域ケアプラザ管轄地区ごとの回答者数

回答数: 992

	潮田CPエリア		矢向CPエリア		寺尾CPエリア		東寺尾CPエリア		駒岡CPエリア		市場CPエリア		鶴見中央CPエリア		生麦CPエリア		馬場CPエリア		無回答
	37町丁		7町丁		12町丁		9町丁		18町丁		16町丁		12町丁		7町丁		11町丁		
	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	
1	1	3	15	29	32	6	28	10	18	4	5	13	70	8	71	0	25	11	
2	2	14	124	11	33	6	29	8	19	9	6	9	74	13	72	0	26	5	
3	3	0	125	8	34	3	30	13	20	8	7	8	75	7	88	7	37	7	
4	4	0	126	7	35	13	31	19	21	10	8	4	76	8	89	0	38	7	
5	11	3	127	8	36	11	102	19	22	4	9	5	77	14	90	5	93	6	
6	12	4	128	13	51	14	103	6	23	5	10	5	78	27	91	17	94	10	
7	13	2	129	3	52	9	104	11	24	7	46	6	79	18	92	10	95	6	
8	14	4			53	2	105	6	39	13	47	3	80	11			96	12	
9	16	0			107	9	106	7	40	6	58	20	81	7			97	7	
10	17	6			108	6			41	16	59	7	82	6			98	5	
11	27	3			109	14			42	25	60	9	83	8			99	4	
12	44	2			110	8			43	9	69	5	84	14					
13	45	4							61	6	111	9							
14	48	4							62	7	112	6							
15	49	4							63	1	122	12							
16	50	1							64	7	123	7							
17	54	9							65	10									
18	55	2							66	13									
19	56	4																	
20	57	4																	
21	67	0																	
22	68	0																	
23	73	8																	
24	85	0																	
25	86	3																	
26	87	1																	
27	100	3																	
28	101	1																	
29	113	0																	
30	114	6																	
31	115	5																	
32	116	4																	
33	117	3																	
34	118	1																	
35	119	4																	
36	120	3																	
37	121	2																	
n	117		79		101		99		160		128		141		39		80		48
%	11.8		8.0		10.2		10.0		16.1		12.9		14.2		3.9		8.1		4.8
	潮田CPエリア	矢向CPエリア	寺尾CPエリア	東寺尾CPエリア	駒岡CPエリア	市場CPエリア	鶴見中央CPエリア	生麦CPエリア	馬場CPエリア	無回答									

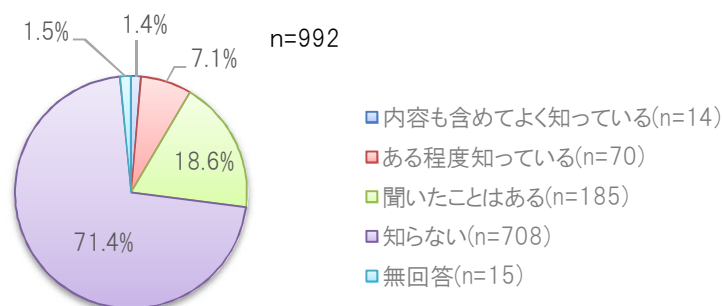
※クロス分析に用いる居住地区は、地域ケアプラザの管轄する9エリア(潮田、矢向、寺尾、東寺尾、駒岡、市場、鶴見中央、生麦、馬場)としています。



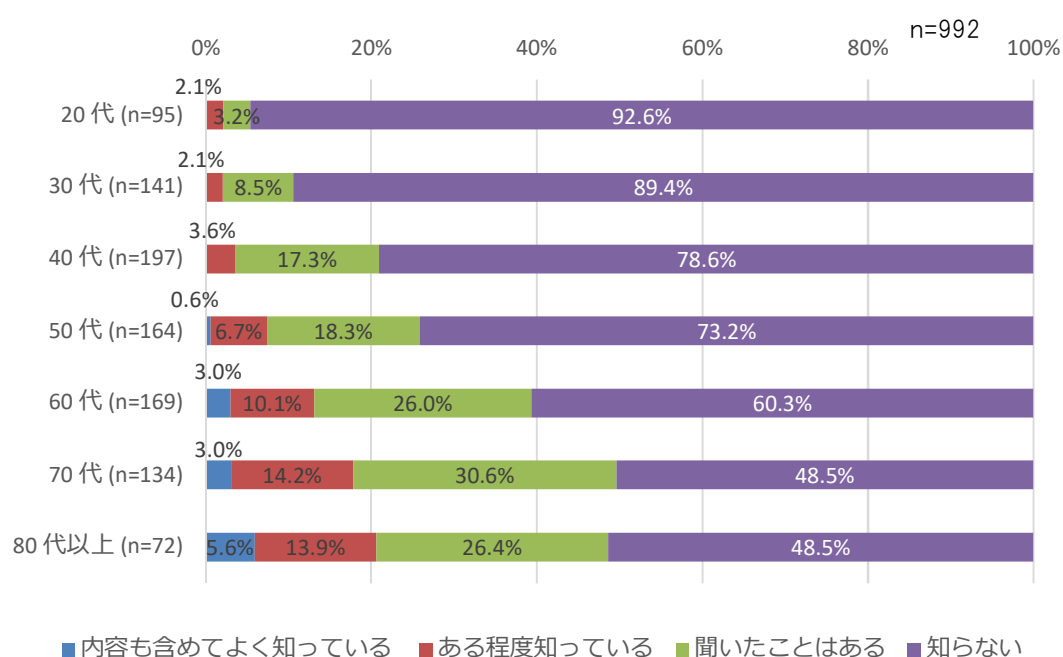
## 第2章 アンケート調査結果

### 1. 「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」について

① あなたは「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」を知っていますか？(単数回答)



#### ○年代ごとの「鶴見・あいねっと」の認知度 クロス分析[①×年代]

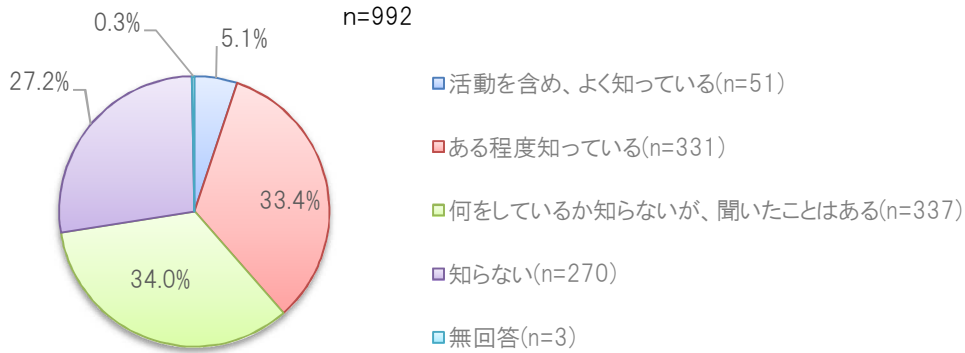


#### 【コメント】

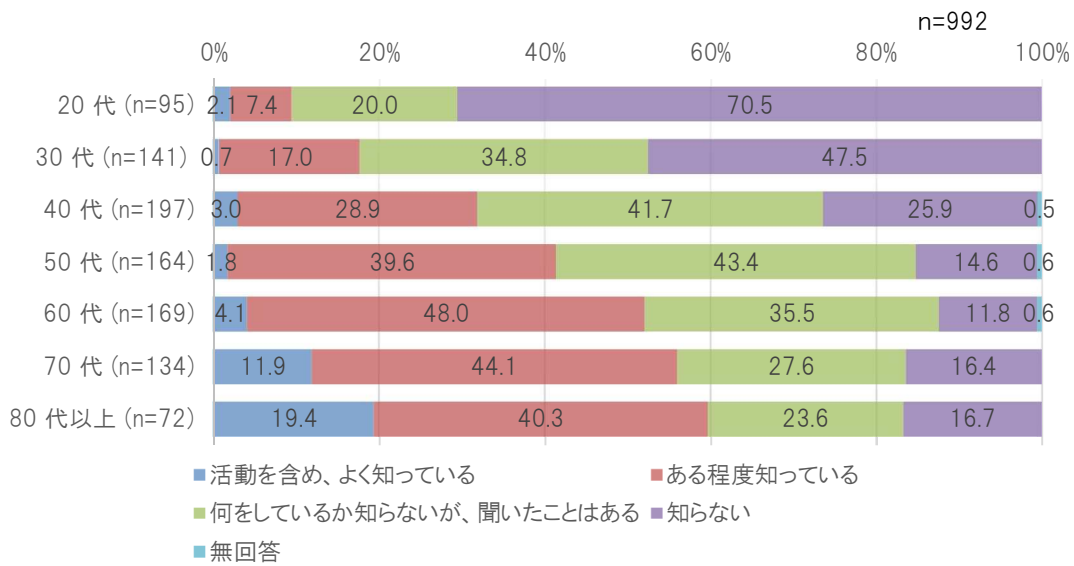
「鶴見・あいねっと」について、「ある程度以上知っている人」は8.5%、「知らない人」は71.4%となっています。年代が上がるにつれて、認知度は向上していますが、最も高い80代以上においても、「ある程度以上知っている人」は19.5%と2割に満たない状況です。

## 2. 「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「地域ケアプラザ」について

### ②-1 あなたは「民生委員・児童委員」を知っていますか？(単数回答)



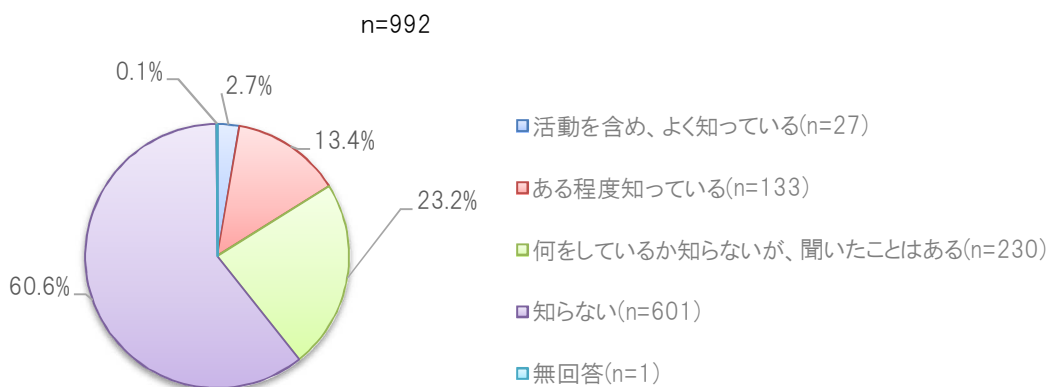
### 〇年代ごとの「民生委員・児童委員」の認知度 クロス分析[②-1×年代]



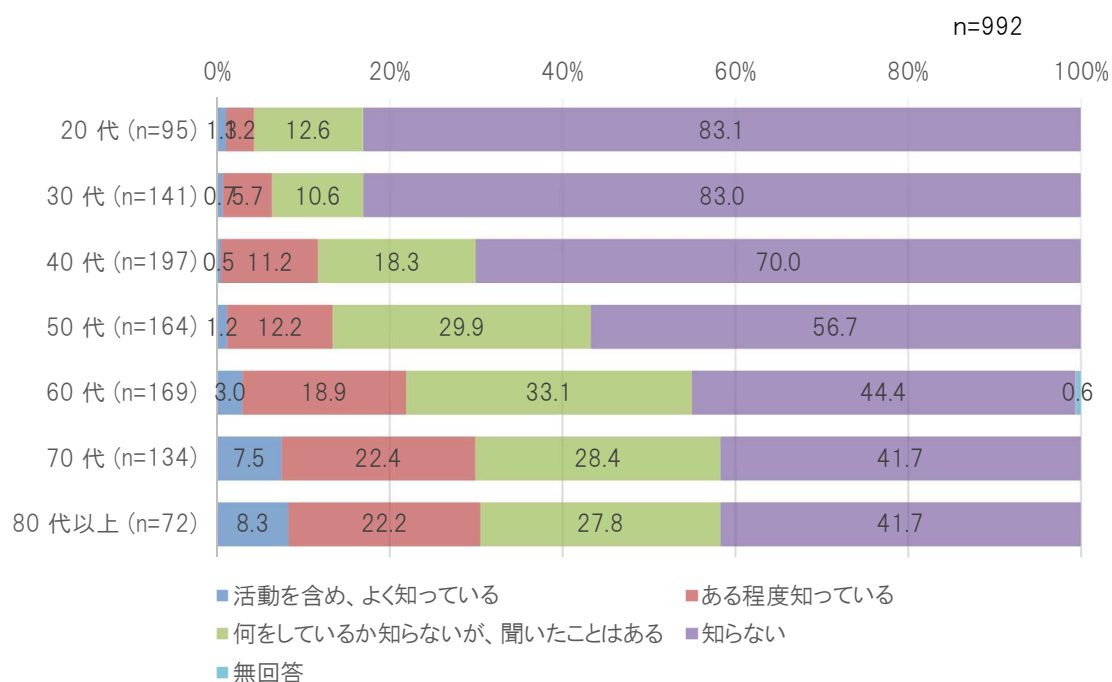
#### 【コメント】

約4割の人が「民生委員・児童委員」をある程度以上知っているという状況です。年代別にみると、年代が上がるにつれて「ある程度以上知っている」ひとの割合は上昇し、80代以上では約6割となっています。20代では、聞いたこともなく知らない人が約7割ありました。

②-2 あなたは「地区社会福祉協議会」を知っていますか？(単数回答)



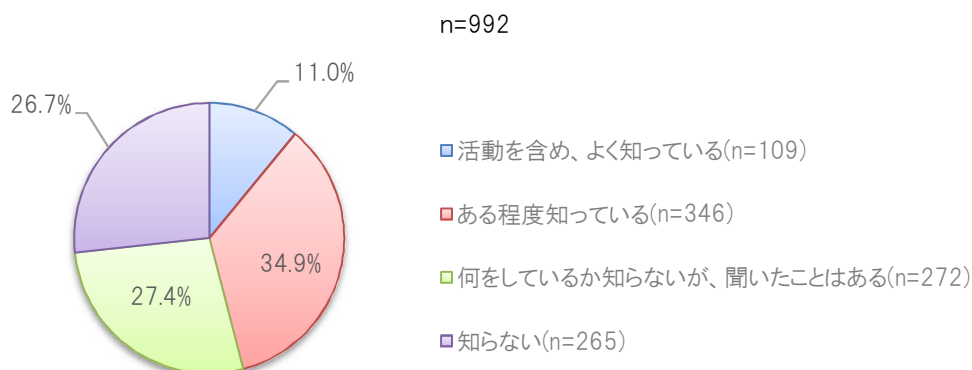
○年代ごとの「地区社会福祉協議会」の認知度 クロス分析[②-2×年代]



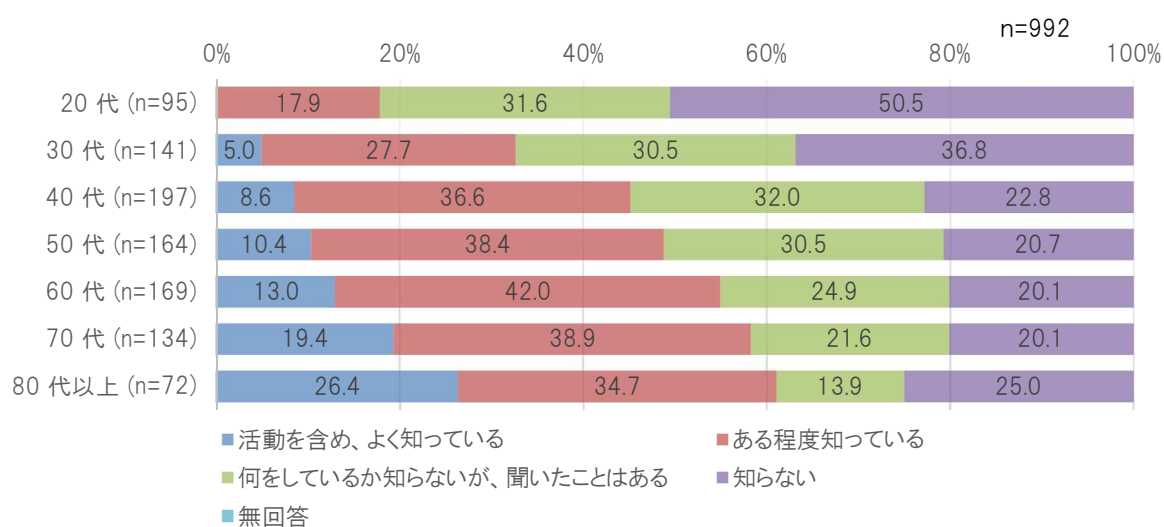
【コメント】

「地区社会福祉協議会」をある程度以上知っている人は、16.1%でした。年代別にみると、年代が上がるにつれて認知度は向上しており、70代以上では約3割の人がある程度以上知っているという状況です。20代、30代においては8割以上の人が聞いたこともなく知らないという状況です。

②-3 あなたは「地域ケアプラザ」を知っていますか？(単数回答)



○年代ごとの「地域ケアプラザ」の認知度 クロス分析[②-3×年代]

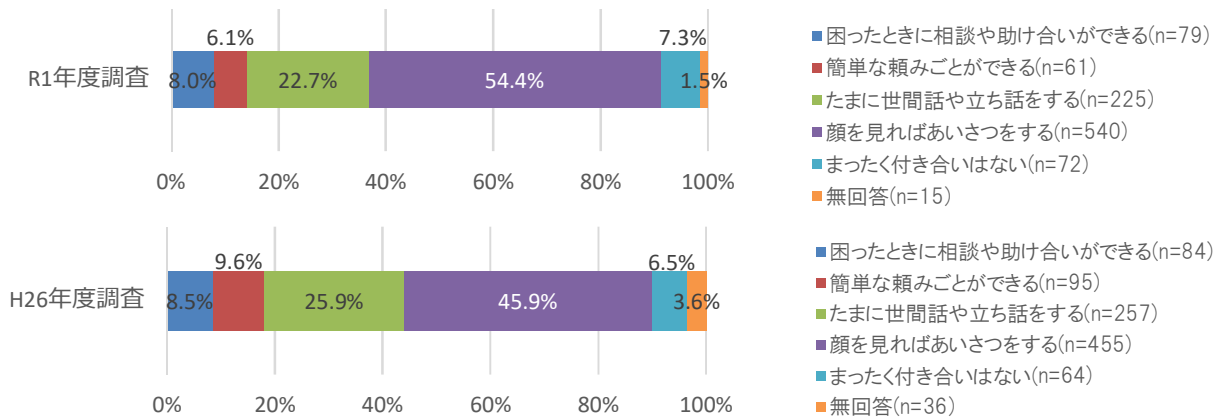


【コメント】

「地域ケアプラザ」について、約半数の人がある程度以上知っているという状況です。  
 年代別にみると、20代では「活動を含め、よく知っている」がなく、「知らない」が50.5%ありました。80代以上においても「知らない」が25%となっており、比較的高くなっています。

### 3. 近所との関わりについて

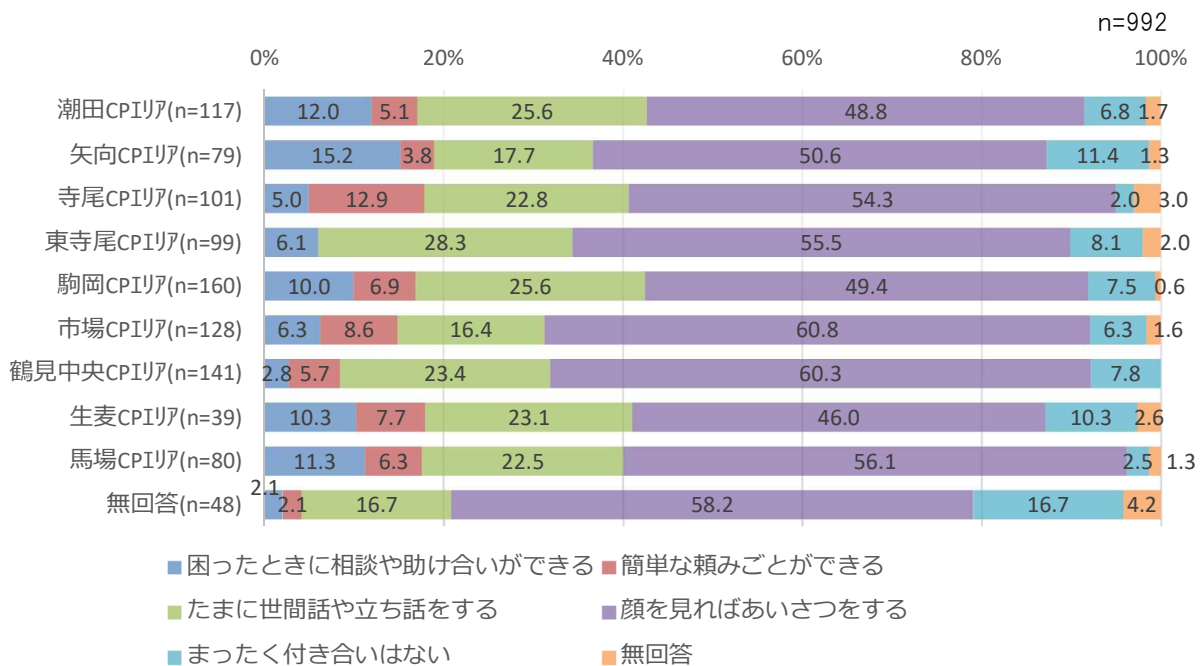
#### ③-1 あなたは日頃、近所の人との程度の付き合いをしていますか？(単数回答)



#### 【コメント】

日頃の近所付き合いの程度について、平成26年度調査と比較すると「顔を見ればあいさつをする」程度の付き合いのあり合いが8.5%増加しています。

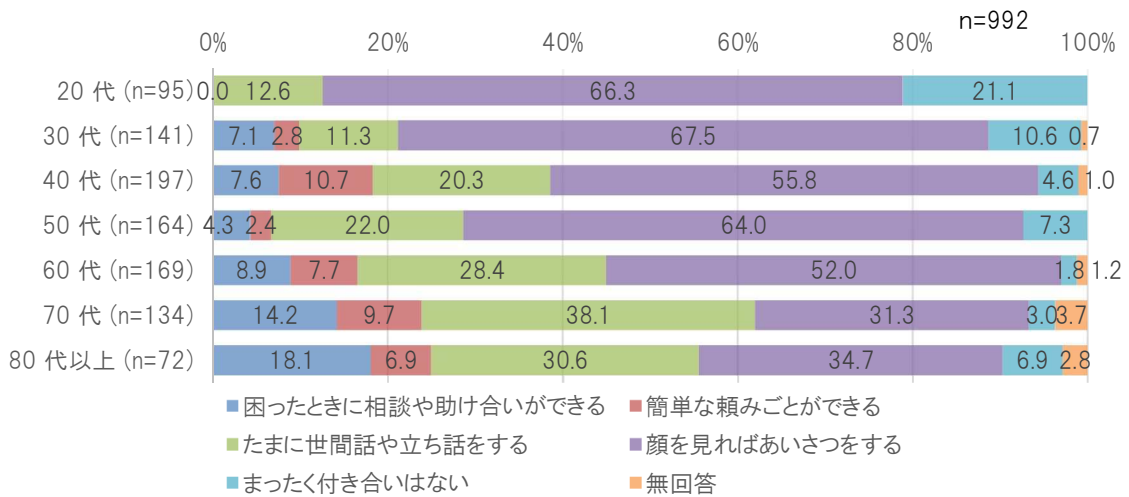
#### ○【参考】9 エリアごとの近所の人との関わり程度のクロス分析[③-1×居住地区]



#### 【コメント】

近所付き合いの程度について、居住エリアごとにみると、寺尾 CP エリア、馬場 CP エリアにおいて、「まったく付き合いはない」がそれぞれ 2.0%、2.5%と低くなっています。また、東寺尾 CP エリア、鶴見中央 CP エリアにおいて、「簡単な頼みごとや困ったときに相談や助け合いができる」と回答した人が、それぞれ 6.1%、8.5%となっており、他の CP エリアが 17~18%程度となっているのに比べ低くなっています。

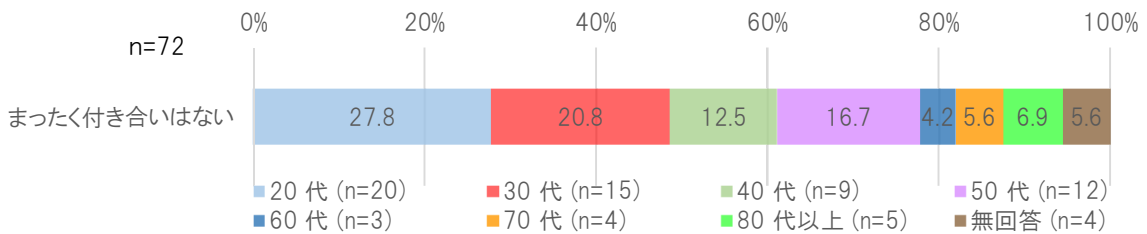
○年代ごとの「近所との関わり」の程度 クロス分析[③-1×年代]



【コメント】

近所付き合いの程度について、年代別にみると、20代においては「簡単な頼みごとや困ったときに相談や助け合いができる」が0%とまったくなく、「まったく付き合いはない」も21.1%となっています。「簡単な頼みごとや困ったときに相談や助け合いができる」の割合についてみると、年代が上がるにつれて高くなる傾向がありますが、50代が6.7%と低くなっています。

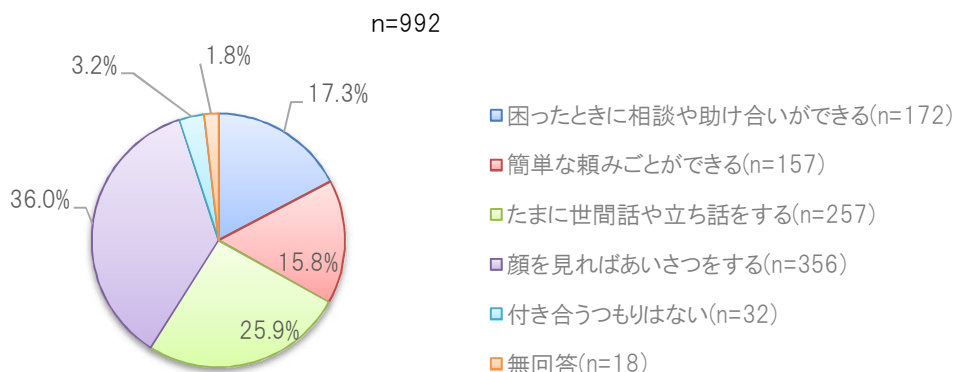
○年代ごとのまったく付き合いはない割合 クロス分析[③-1「まったく付き合いはない」×年代]



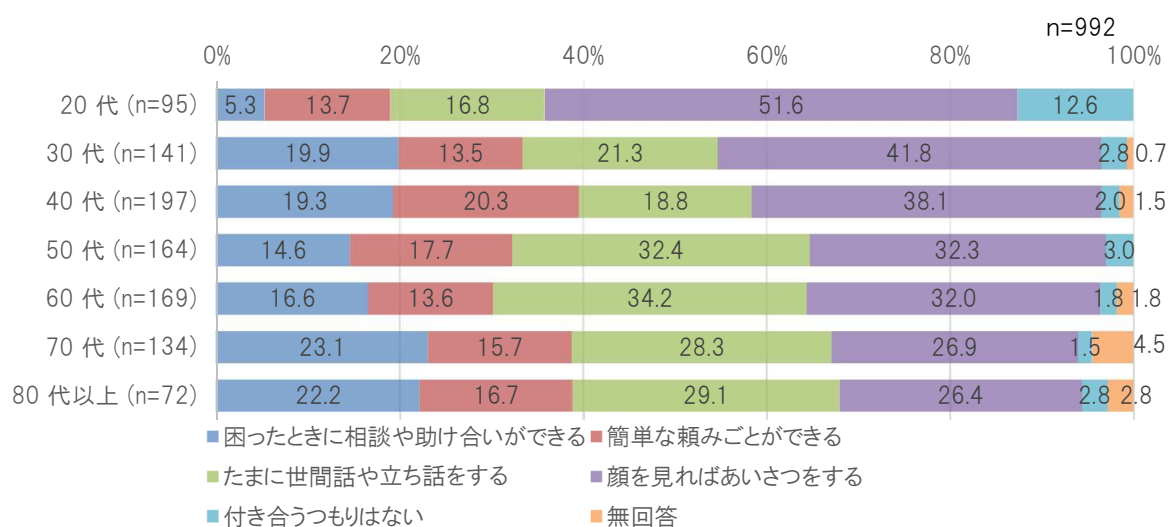
【コメント】

普段近所の人とまったく付き合いのない人について年代別にみると、「20代」が27.8%と最も高く、次いで、「30代」20.8%、「50代」16.7%となっており、「60代」が4.2%で最も低い割合となっています。

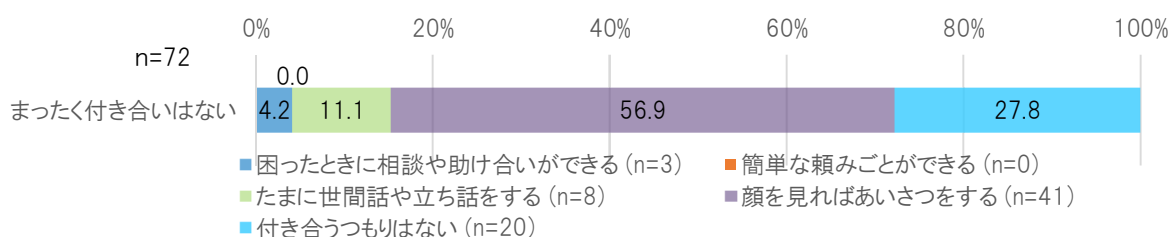
③-2 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いを望みますか？(単数回答)



○年代ごとの希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[③-2×年代]



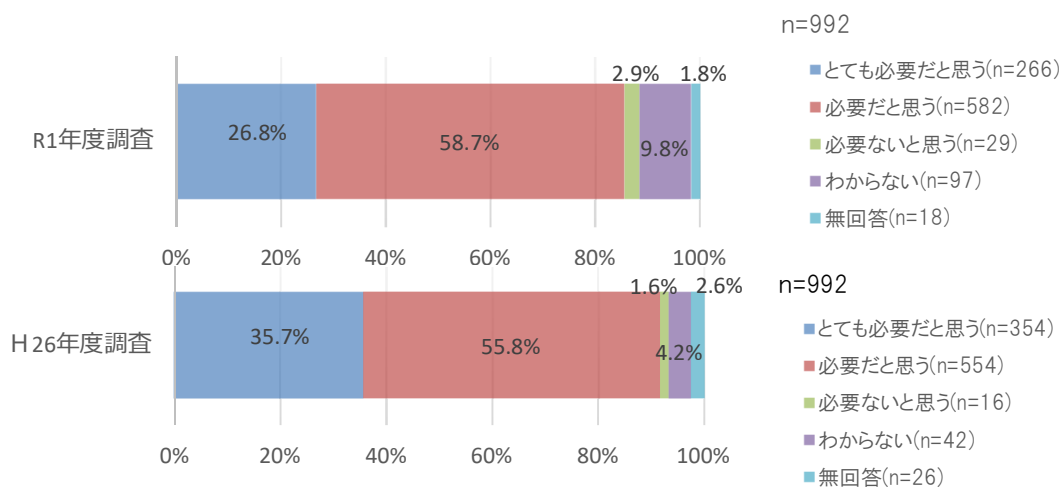
○現在、「近所の人とまったく付き合いはない」人が、希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[③-1「まったく付き合いはない」×③-2]



【コメント】

希望する付き合いの程度についてみると、「顔を见ればあいさつをする」が36.0%と一番多くなっています。年代別の希望する付き合いの程度をみると、20代において「困ったときに相談や助け合いができる」の割合が5.3%と低くなっています。20代から40代では「顔を见ればあいさつをする」程度の付き合いを希望する割合が1番多くなっていますが、50代以上では「たまに世間話や立ち話をする」の割合が1番多くなっています。また、日頃の付き合いが全くない人の希望する付き合いの程度を見ると、「顔を见ればあいさつをする」が53.9%と最も高くなっています。

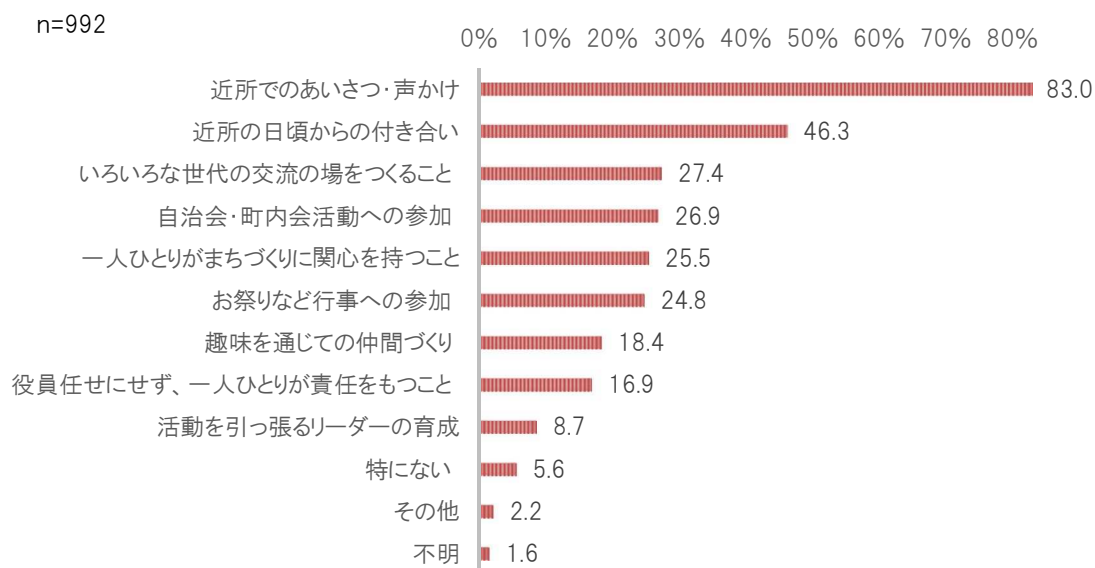
③-3 災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築けていることが必要だと思いますか？(単数回答)



【コメント】

災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築けていることが「とても必要だと思う」は 26.8%、「必要だと思う」は 58.7%となっています。

③-4 日頃からお互いの関係づくりができるためには、どのようなことが必要だと思いますか？(〇はいくつでも)(複数回答)



【コメント】

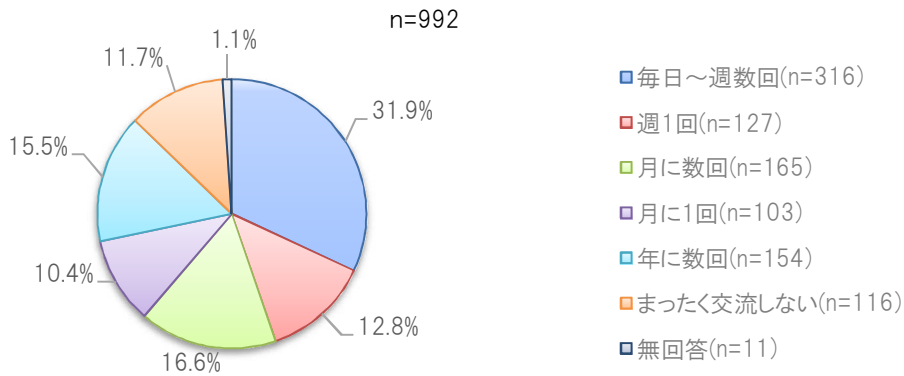
日頃からお互いの関係づくりができるために必要なことで最も多かったのは、「近所でのあいさつ・声かけ」で 83.0%。次いで「近所の日頃からの付き合い」46.3%、「いろいろな世代の交流の場をつくること」27.4%となっています。

「その他」の意見としては、「活動でお金がもらえること」、「社会の一員としての自覚」、「SNS、ネット等を用いた接点づくり」といった意見があげられました。

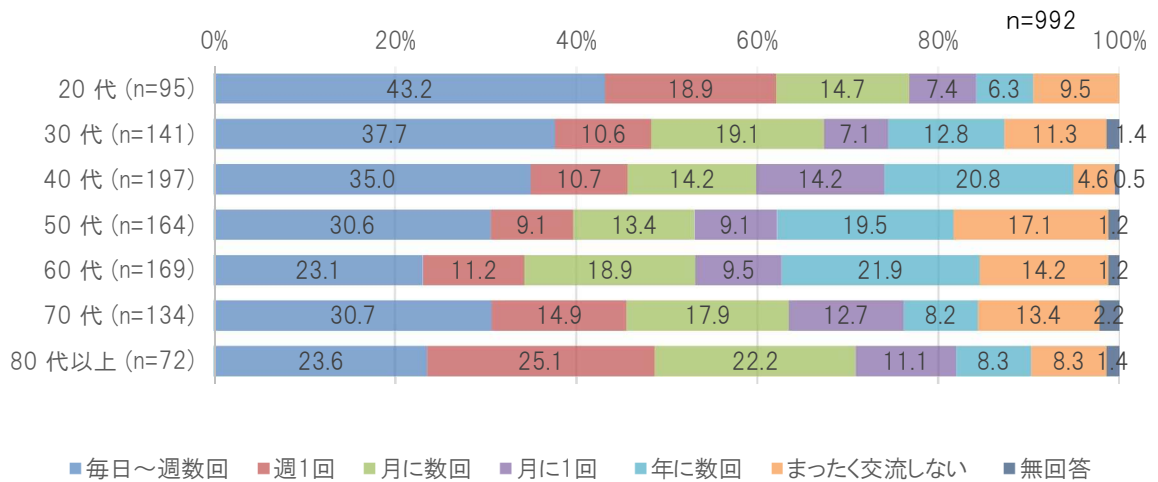


#### 4. 周囲の方と交流する頻度について

④ 同居家族以外(近所の方や友人、職場の人等)と会うなどして交流する頻度はどれくらいですか？(単数回答)



○年代ごとの「周囲の方と交流」の頻度 クロス分析[④×年代]

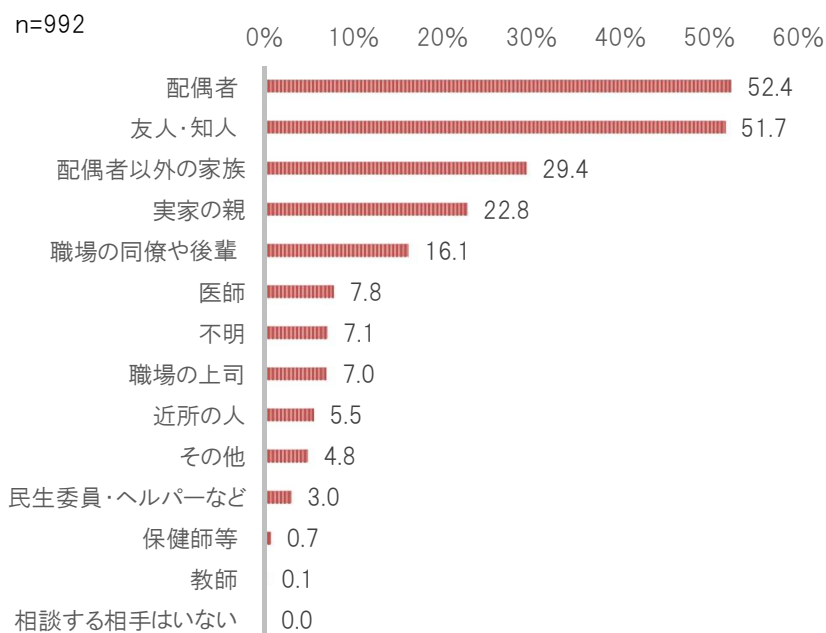


#### 【コメント】

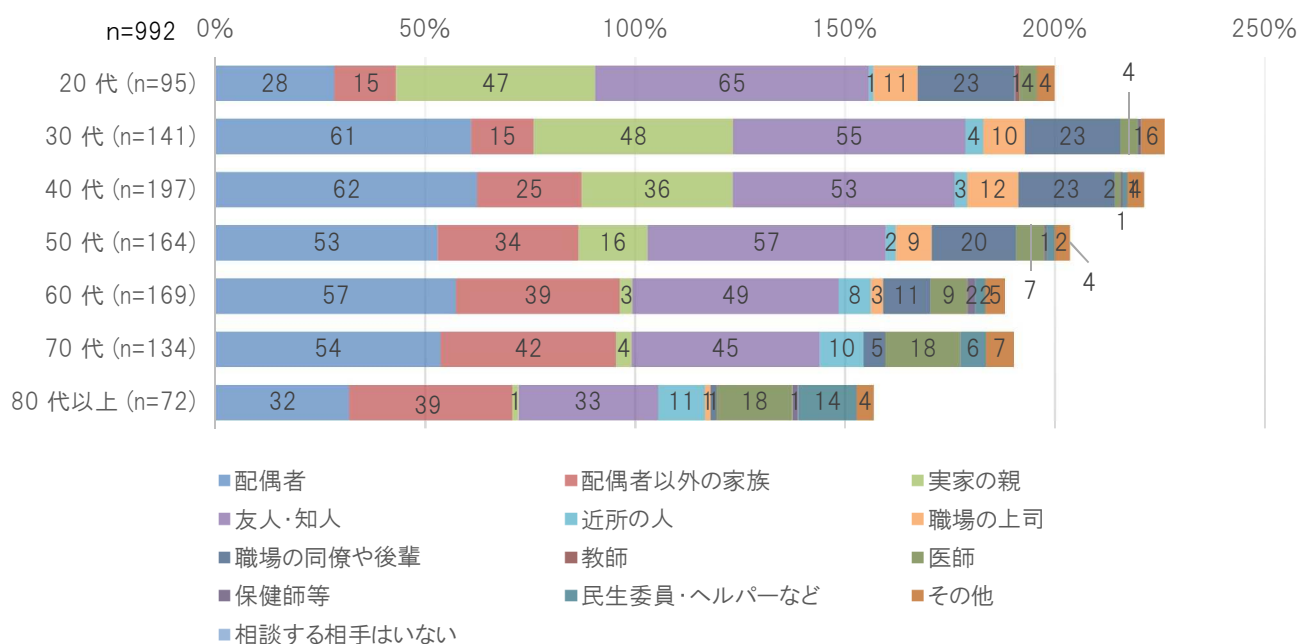
年代ごとに近所や職場の方との交流頻度をみると、「週1回以上」交流がある割合は、20代が62.1%と最も高く、次いで80代以上48.7%、30代48.3%、70代45.6%となっています。一方、「年に数回以下」の割合は、50代が36.6%と最も高く、次いで60代36.1%、40代25.4%となっています。

## 5. 不安や悩みの相談先について

### ⑤ あなたは不安や悩みを主に誰に相談していますか？(〇はいくつでも)(複数回答)



### 〇年代ごとの、不安や悩みの相談先 クロス分析 [⑤×年代]



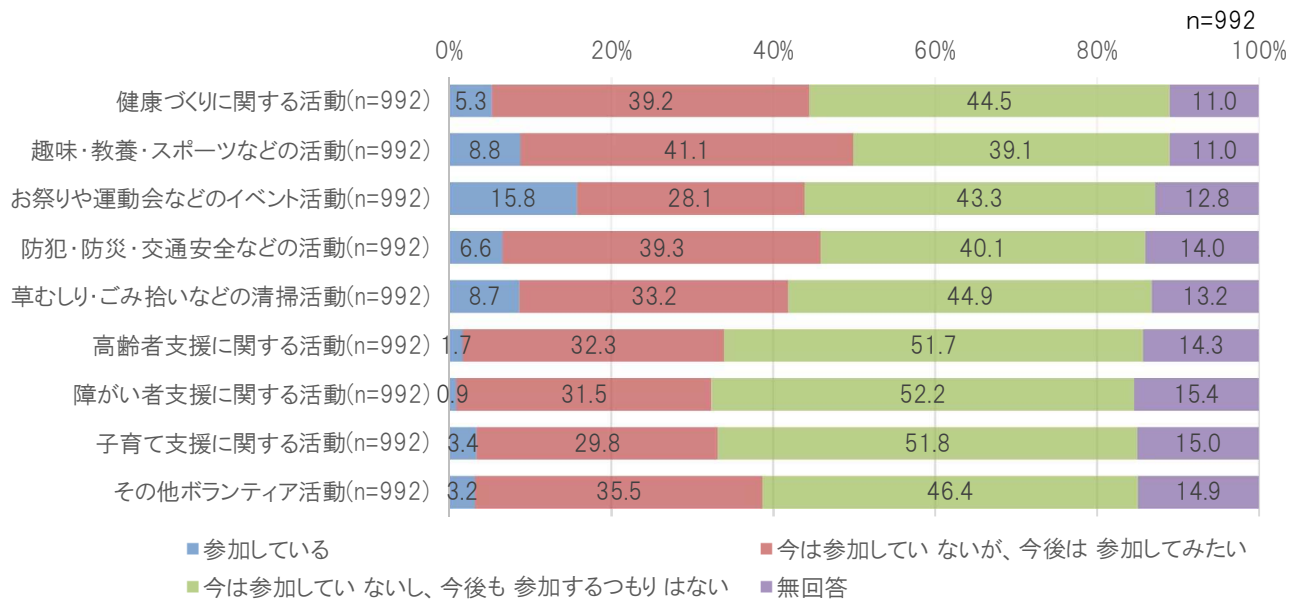
#### 【コメント】

不安や悩みの相談先としては、「配偶者」が1番多く52.4%、次いで「友人・知人」51.7%、「配偶者以外の家族」29.4%となっています。年代別にみると、20代では「友人・知人」が1番多く65%、年代が上がるにつれて、「医師」や「民生委員・ヘルパー」の割合が増えています。

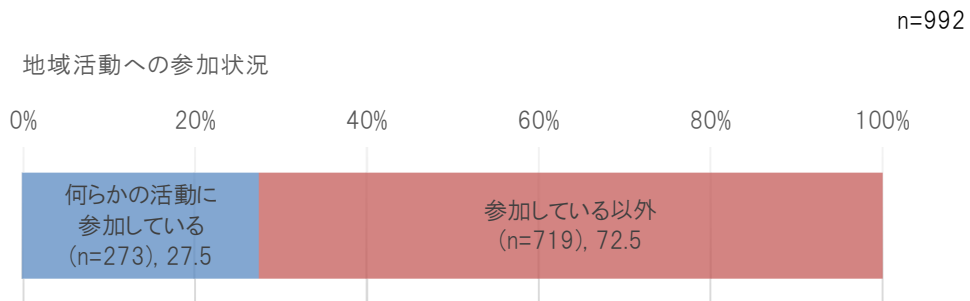
「その他」の意見として、「わっくん広場スタッフ」、「SNS」、「NPO」といった意見があげられました。

## 6. 地域活動への参加状況について

### ⑥-1 あなたはご近所や区内で行われている次のような活動に参加していますか？(単数回答)

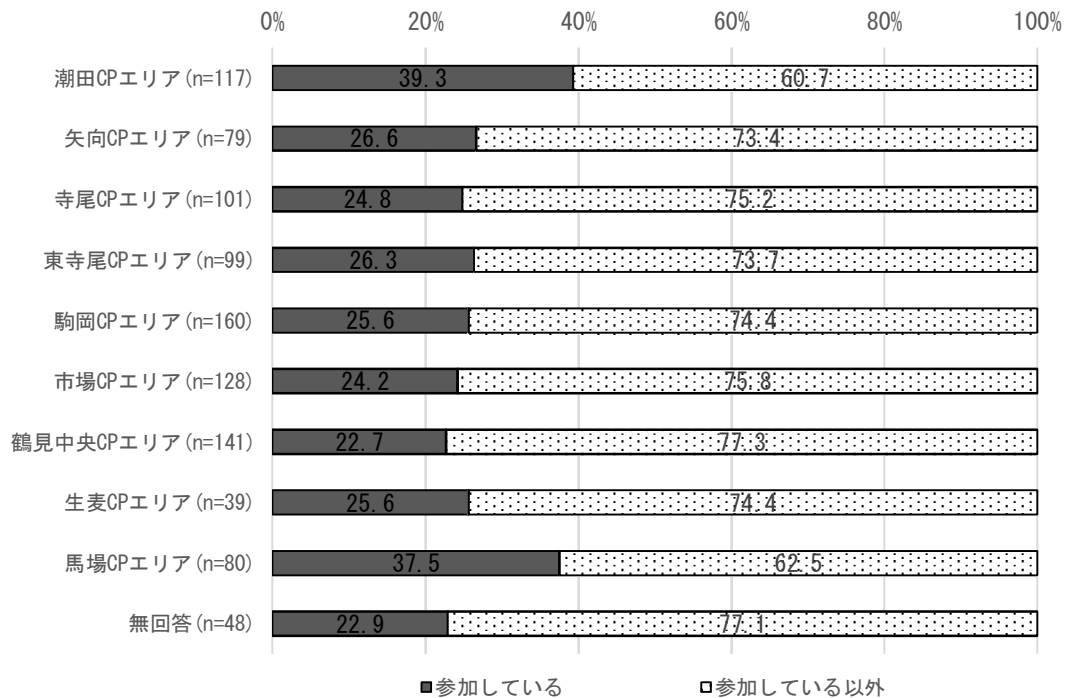


### ○地域活動への参加状況



○【参考】9 エリアごとの地域活動への参加状況 クロス分析[⑥-1「参加状況」×居住地区]

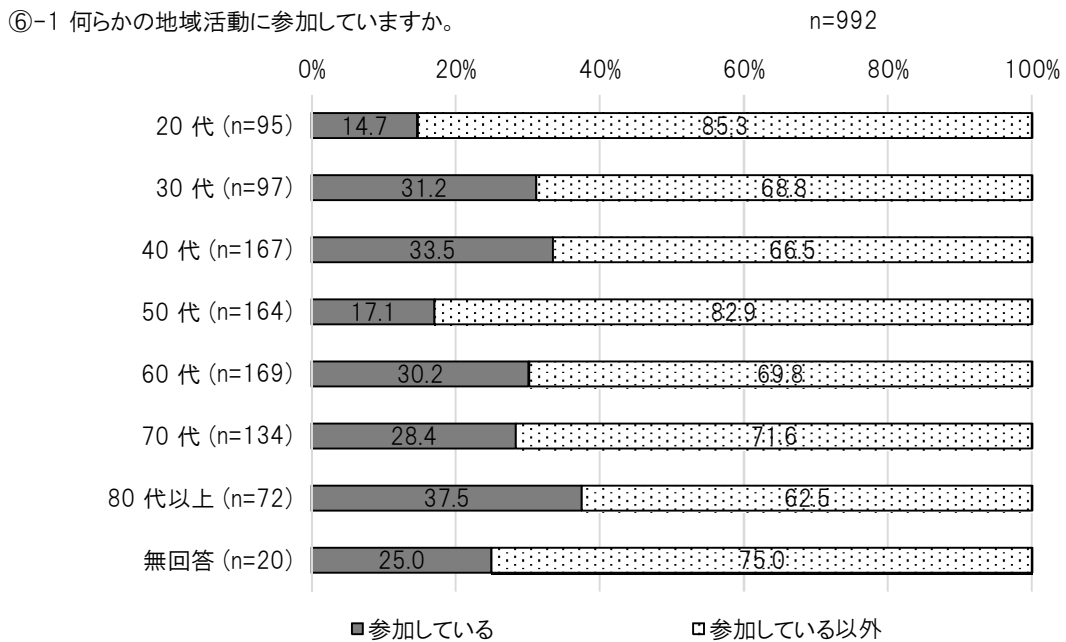
⑥-1 何らかの地域活動に参加していますか。 n=992



【コメント】

近所や区内で行われる活動の参加状況をみると、「お祭りや運動会などのイベント活動」が最も高く15.8%と参加割合が高くなっています。何らかの活動に参加する人の割合は、27.5%となっています。エリア別に参加状況をみると、何らかの活動に参加しているかどうかについてみると、潮田 CP エリア 39.3%、馬場 CP エリア 37.5%で、他のエリアと比べ高くなっています。

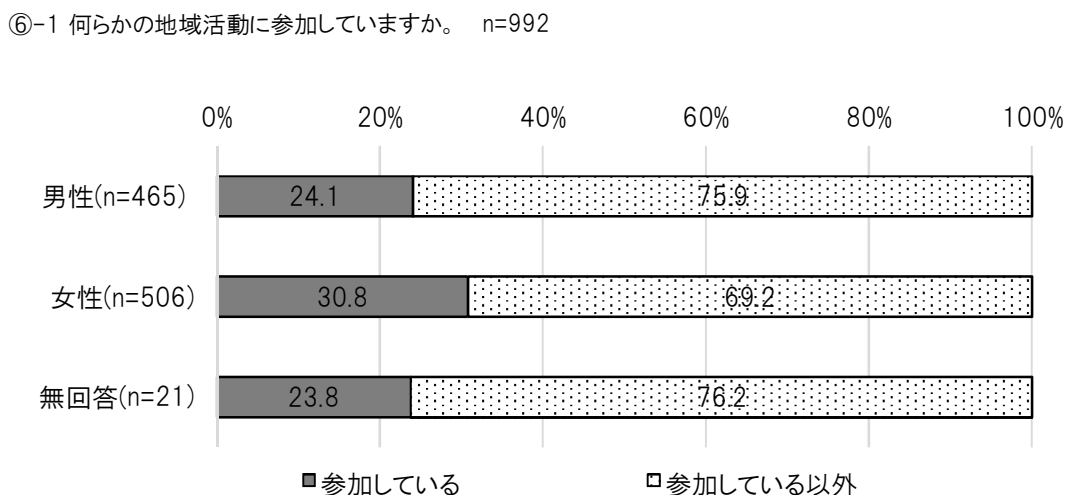
○年代ごとの「地域活動」参加状況 [⑥-1「参加状況」×年代]



【コメント】

年代別の参加内容をみると、「健康づくり」や「趣味・教養・スポーツ等」は年代が上がるとともに割合が高くなっています。また、年代別に参加状況を見ると、「80代以上」が最も高く37.5%、次いで「40代」33.5%、「30代」31.2%となっています。

○性別ごとの「地域活動」参加状況 [⑥-1「参加状況」×性別]

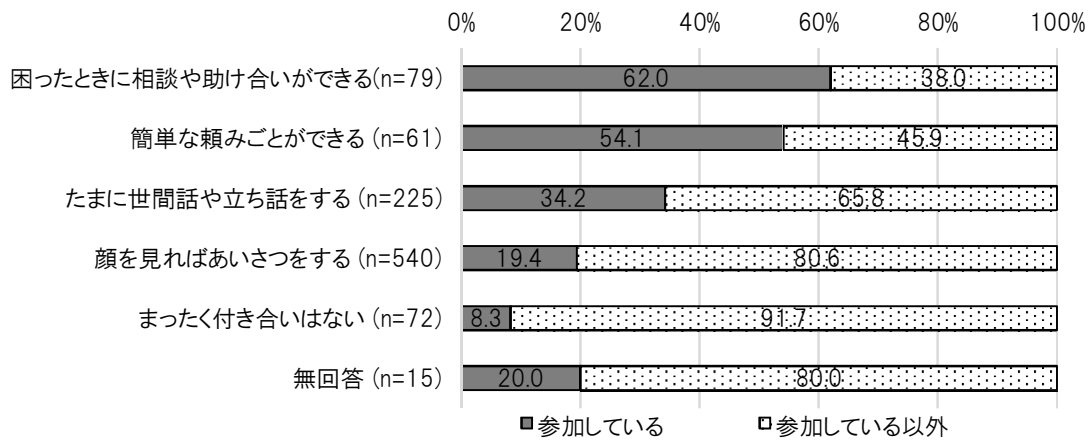


【コメント】

何らかの活動に参加しているか性別にみると、「女性」30.8%、「男性」24.1%と女性の割合が高くなっています。

○近所の人との付き合いごとの「地域活動」参加状況 [⑥-1「参加状況」×③-1]

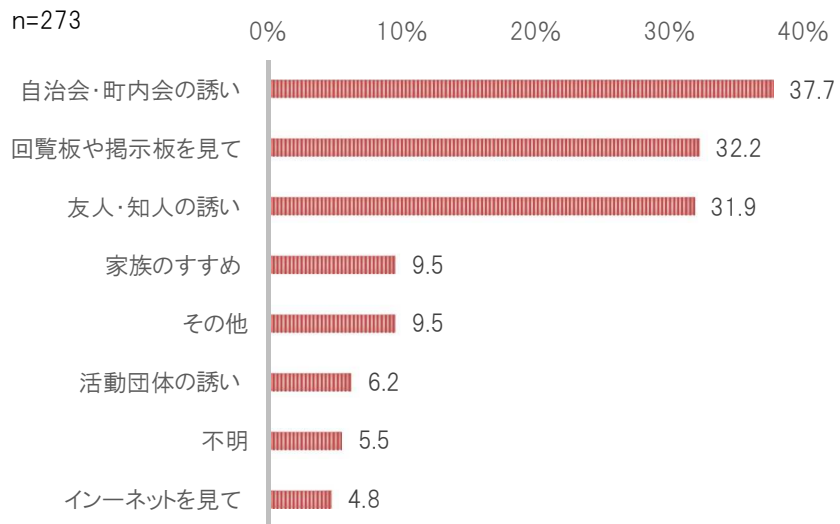
⑥-1 何らかの地域活動に参加していますか。 n=992



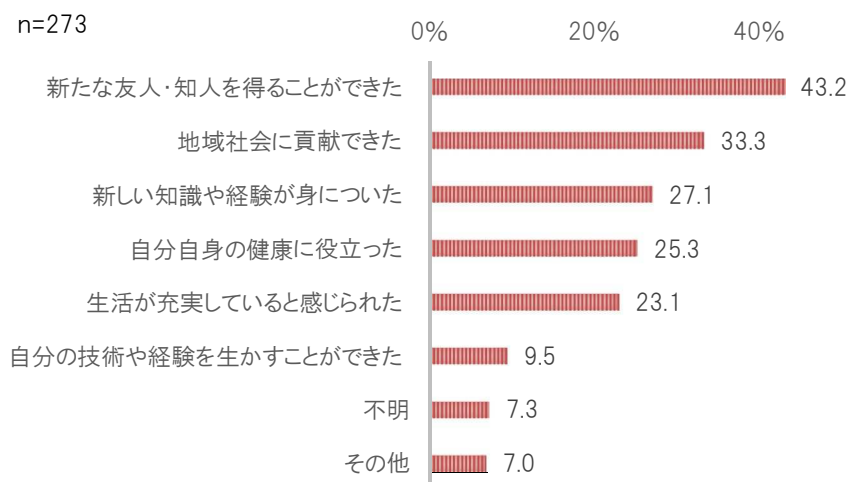
【コメント】

困ったときに相談や助け合いができる、簡単な頼みごとができる等、比較的近所の人と親密な関係にある方は、地域活動に参加している割合も5割を超えていた。

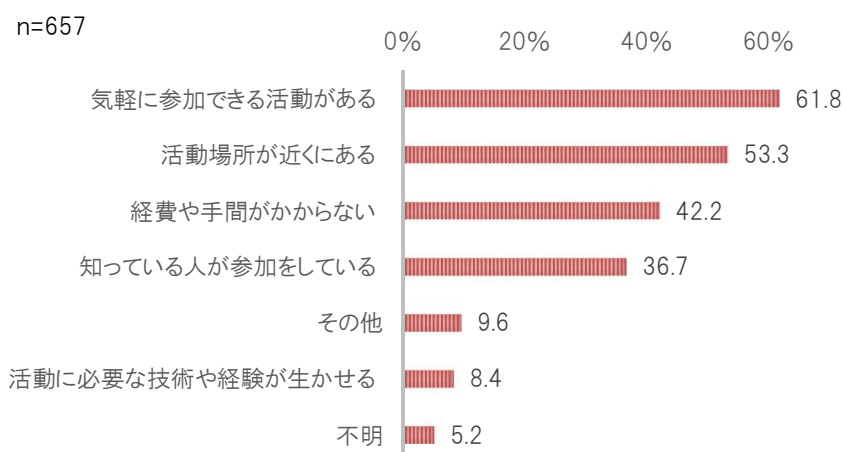
⑥-2 活動に参加したきっかけは何ですか？ (⑥-1で「参加している」を1つでも選択した人限定)(複数回答)



⑥-3 活動に参加してよかったと思うことは何ですか？(⑥-1で「参加している」を1つでも選択した人限定)(複数回答)



⑥-4 どのような状況であれば活動に参加しやすいですか？(⑥-1で「今は参加していないが、今後は参加してみたい」を1つでも選択した人限定)(複数回答)



【コメント】

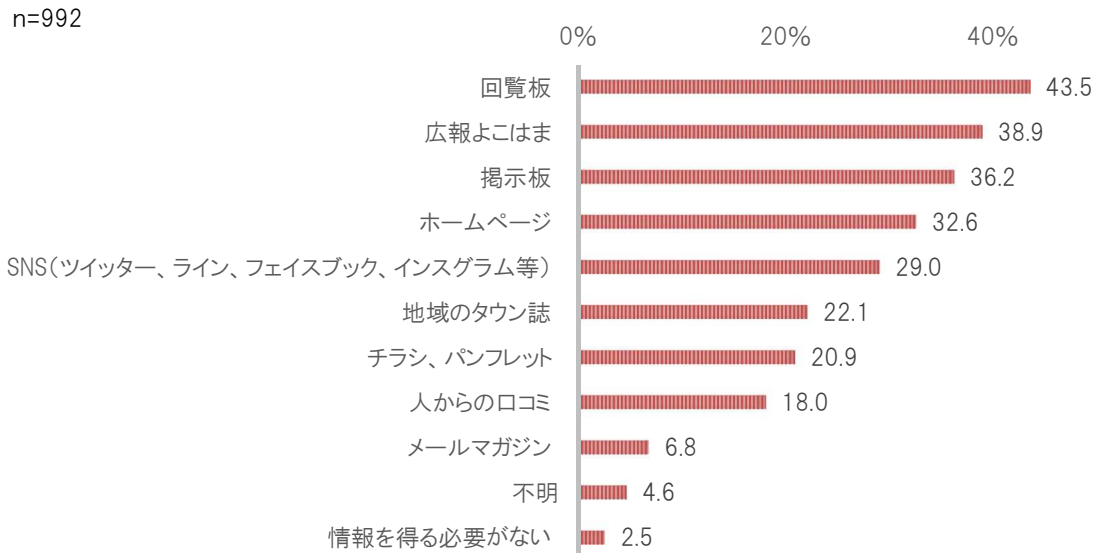
活動に参加したきっかけをみると、「自治会・町内会の誘い」が最も多く 37.7%、次いで「回覧板や掲示板をみて」32.2%、「友人・知人の誘い」31.9%となっています。また、参加してよかったこととしては、「新たな友人・知人を得ることができた」が最も多く 43.2%、次いで「地域社会に貢献できた」33.3%となっています。

どのような状況であれば活動に参加しやすいかということについては、「気軽に参加できる活動がある」が 61.8%で最も高く、次いで「活動場所が近くにある」53.3%、「経費や手間がかからない」42.2%となっています。

活動に参加したきっかけの「その他」の意見としては、「自身が立ち上げた」、「広報よこはまを見て」、「子どものPTA活動」という意見がありました。また、「どのような状況であれば参加しやすいか」の「その他」の意見として、「時間的に余裕ができれば」、「退職後」、「子連れがOKである」といった意見があげられました。

## 7. 地域の情報を得る方法について

⑦ 地域の情報を得る方法として、これから利用したいと思うものは何ですか？（〇はいくつでも）（複数回答）



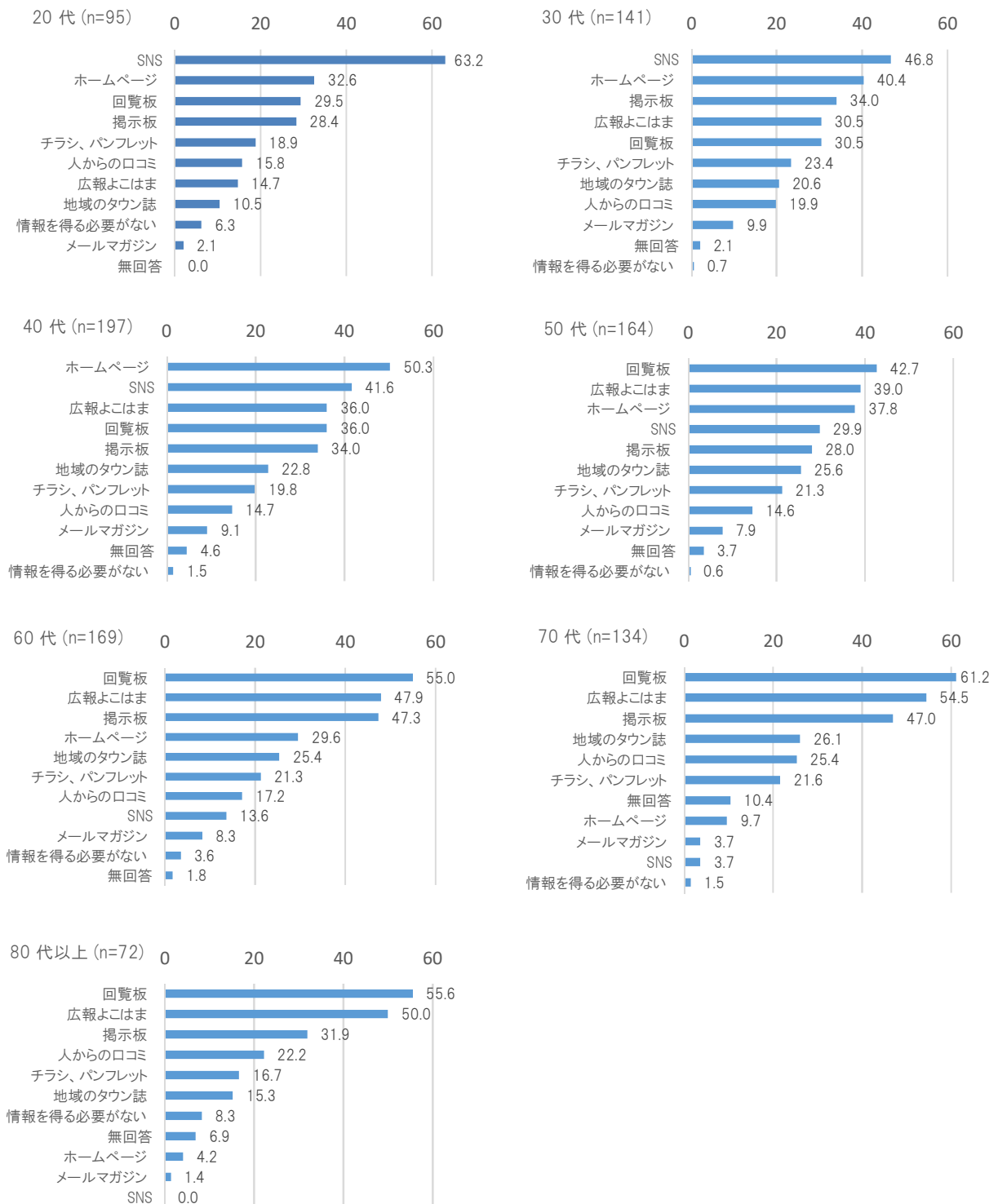
〇【参考】9 エリアごとの地域の情報を得る方法の割合 [クロス分析⑦×居住地区]

	合計	SNS	メールマガジン	ホームページ	掲示板	回覧板	広報よこはま	チラシ、パンフレット	地域のタウン誌	人からの口コミ	情報を得る必要がない	無回答
全体	100.0	29.0	6.8	32.6	36.2	43.5	38.9	20.9	22.1	18.0	2.5	4.6
潮田	100.0	31.6	6.0	30.8	45.3	54.7	40.2	16.2	19.7	18.8	4.3	4.3
矢向	100.0	29.1	8.9	32.9	43.0	43.0	43.0	20.3	17.7	24.1	5.1	0.0
寺尾	100.0	27.7	4.0	37.6	30.7	45.5	31.7	18.8	20.8	13.9	0.0	5.9
東寺尾	100.0	25.3	5.1	27.3	37.4	48.5	39.4	28.3	24.2	16.2	2.0	4.0
駒岡	100.0	30.6	11.3	30.6	34.4	41.3	40.6	13.1	21.3	17.5	3.1	6.3
市場	100.0	33.6	5.5	32.8	41.4	45.3	36.7	24.2	23.4	16.4	1.6	4.7
鶴見中央	100.0	29.8	5.7	39.0	25.5	28.4	39.7	28.4	28.4	16.3	1.4	4.3
生麦	100.0	15.4	7.7	25.6	48.7	61.5	46.2	23.1	20.5	23.1	2.6	2.6
馬場	100.0	26.3	6.3	33.8	32.5	47.5	45.0	18.8	17.5	21.3	3.8	2.5
無回答	100.0	29.2	6.3	27.1	31.3	29.2	25.0	18.8	22.9	20.8	2.1	12.5

※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶされています。



## ○年代ごとの「地域の情報を得る方法」〔クロス分析⑦×年代〕



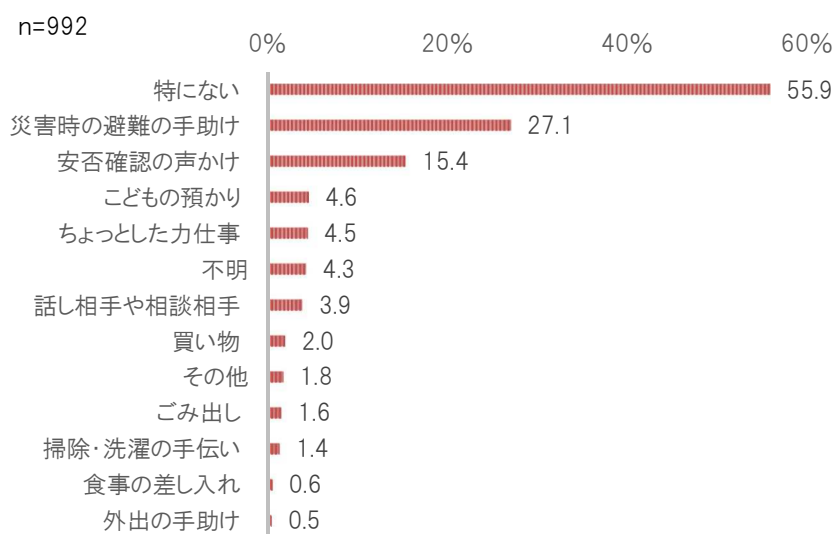
### 【コメント】

地域の情報を得る方法として最も多かったのは「回覧板」で43.5%、次いで「広報よこはま」38.9%、「掲示板」36.2%となっています。居住地区別にみると、「回覧板」による情報収集の割合が高いのは、「潮田」「生麦」CPエリア、「SNS」については、「市場」CPエリアにおいて高くなっています。

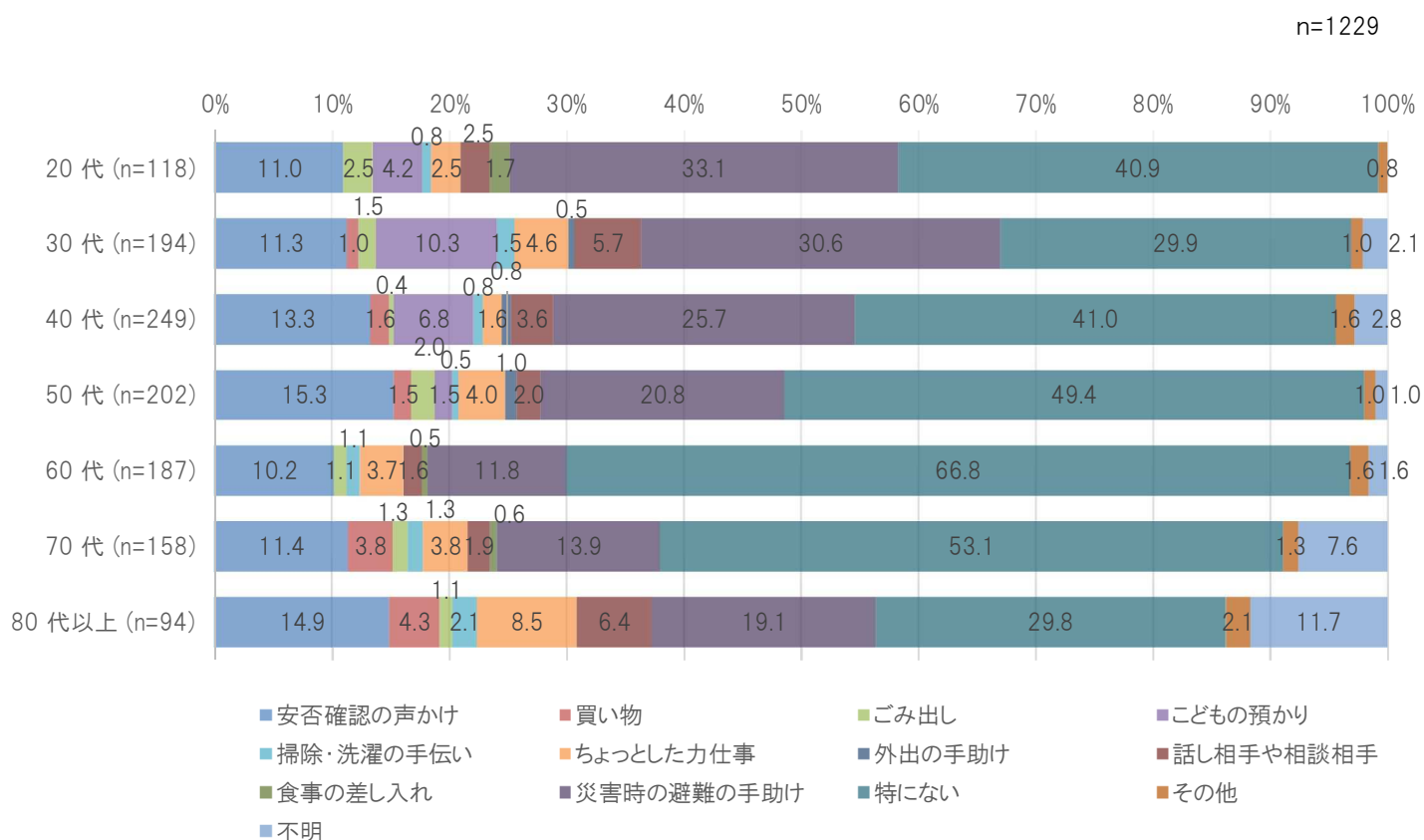
年代別にみると、「20代」「30代」では「SNS」の割合が最も高く、「40代」では「ホームページ」、「50代以上」は「回覧板」が最も高い割合となっています。

## 8. 地域での必要な支援について

### ⑧-1 あなたは近所で手伝いをしてもらいたいことはありますか？(〇はいくつでも)(複数回答)



### 〇年代ごとの、近所で手伝いをしてもらいたい内容 [⑧-1×年代]



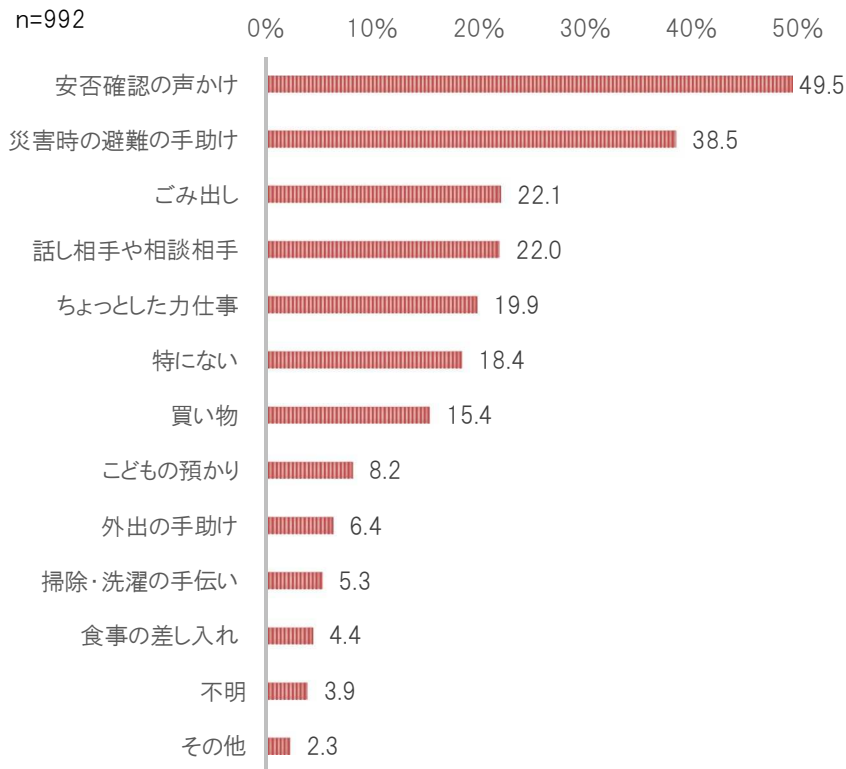
**【コメント】**

近所で手伝いをしてもらいたいことで最も多かったものは、「特にない」で 55.9%、次いで「災害時の避難の手助け」27.1%、「安否確認の声掛け」15.4%となっています。

年代別にみると、60代において「特にない」の割合が最も高く 74.0%となっています。

「その他」の意見としては、「長期外出時の水やり」、「ごみの処分」、「日本語のサポート」といった意見があがりました。

**⑧-2 あなたは近所の困っている人にどのような手伝いができると思いますか？(〇はいくつでも)(複数回答)**

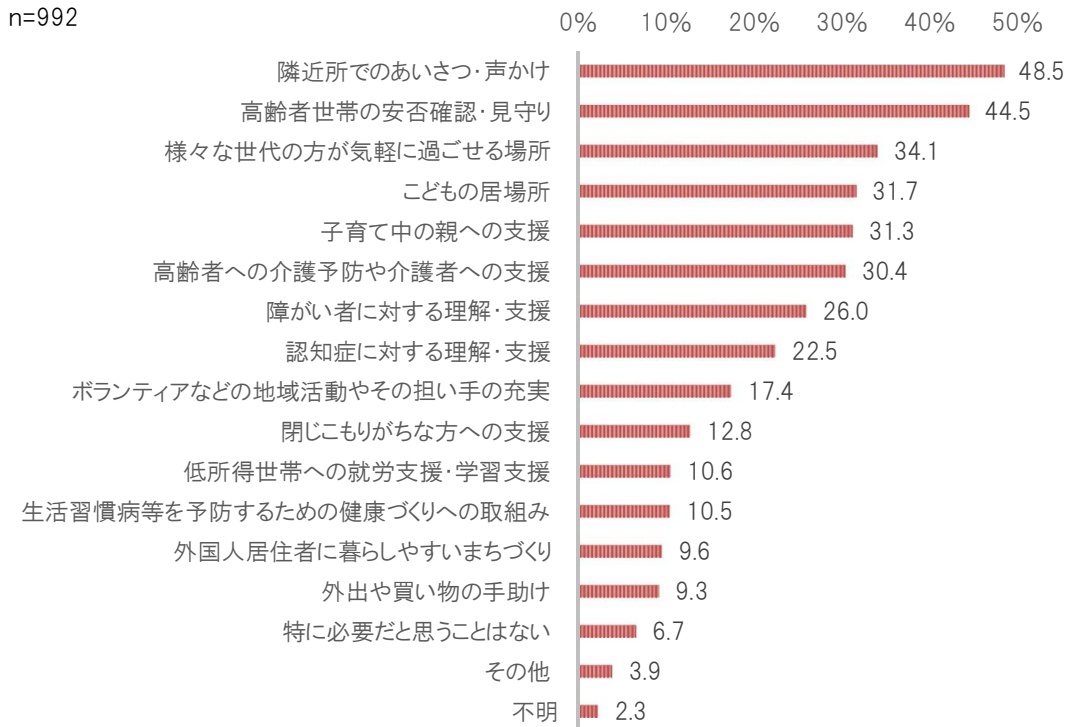


**【コメント】**

近所の困っている人にどのような手伝いができるかということについてみると、「安否確認の声かけ」が最も多く 49.5%、次いで「災害時の避難の手助け」38.5%となっています。

「その他」の意見としては、「自分に何ができるかわからない」、「お願いされればできる」、「しごとで培った技術の提供」といった意見があげられました。

⑧-3 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？(○は5つまで)(複数回答)



○【参考】9 エリアごとの地域が住みやすくなるために充実すると良いと思う内容 [クロス分析  
⑧-3×居住地区]

n=992

	合計	高齢者世帯の安否確認・見守り	高齢者への介護予防や介護者への支援	認知症に対する理解・支援	障がい者に対する理解・支援	外出や買い物の手助け	閉じこもりがちな方への支援	子育て中の親への支援	こどもの居場所	様々な世代の方が気軽に過ごせる場所	生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取り組み	ボランティアなどの地域活動やその担い手の充実	隣近所でのあいさつ・声かけ	低所得世帯への就労支援・学習支援	外国人居住者に暮らしやすいまちづくり	特に必要だと思うことはない	その他	無回答
全体	100.0	44.5	30.4	22.5	26.0	9.3	12.8	31.3	31.7	34.1	10.5	17.4	48.5	10.6	9.6	6.7	3.9	2.3
潮田	100.0	48.7	29.1	25.6	22.2	4.3	18.8	35.9	29.9	35.0	12.0	22.2	56.4	13.7	12.8	6.0	3.4	4.3
矢向	100.0	40.5	27.8	12.7	26.6	8.9	10.1	29.1	30.4	43.0	12.7	19.0	50.6	11.4	3.8	11.4	1.3	0.0
寺尾	100.0	41.6	29.7	21.8	26.7	10.9	10.9	33.7	34.7	30.7	7.9	14.9	51.5	13.9	12.9	3.0	4.0	2.0
東寺尾	100.0	33.3	19.2	21.2	22.2	9.1	15.2	32.3	25.3	42.4	11.1	17.2	50.5	11.1	6.1	8.1	4.0	2.0
駒岡	100.0	51.9	33.1	18.8	25.6	7.5	8.8	23.8	32.5	30.0	10.6	19.4	43.8	11.9	10.6	5.6	2.5	2.5
市場	100.0	45.3	31.3	32.0	31.3	5.5	12.5	35.2	33.6	36.7	8.6	12.5	43.0	10.2	7.8	7.0	6.3	1.6
鶴見中央	100.0	45.4	37.6	21.3	21.3	9.9	9.9	32.6	33.3	31.2	12.1	19.1	48.2	8.5	14.9	5.7	4.3	2.8
生麦	100.0	53.8	46.2	17.9	28.2	20.5	25.6	25.6	28.2	20.5	12.8	15.4	64.1	5.1	2.6	7.7	2.6	0.0
馬場	100.0	42.5	28.8	23.8	30.0	15.0	10.0	36.3	37.5	36.3	5.0	12.5	45.0	7.5	6.3	7.5	6.3	1.3
無回答	100.0	35.4	20.8	27.1	33.3	14.6	18.8	22.9	25.0	29.2	14.6	20.8	39.6	6.3	8.3	8.3	4.2	6.3

※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶされています。

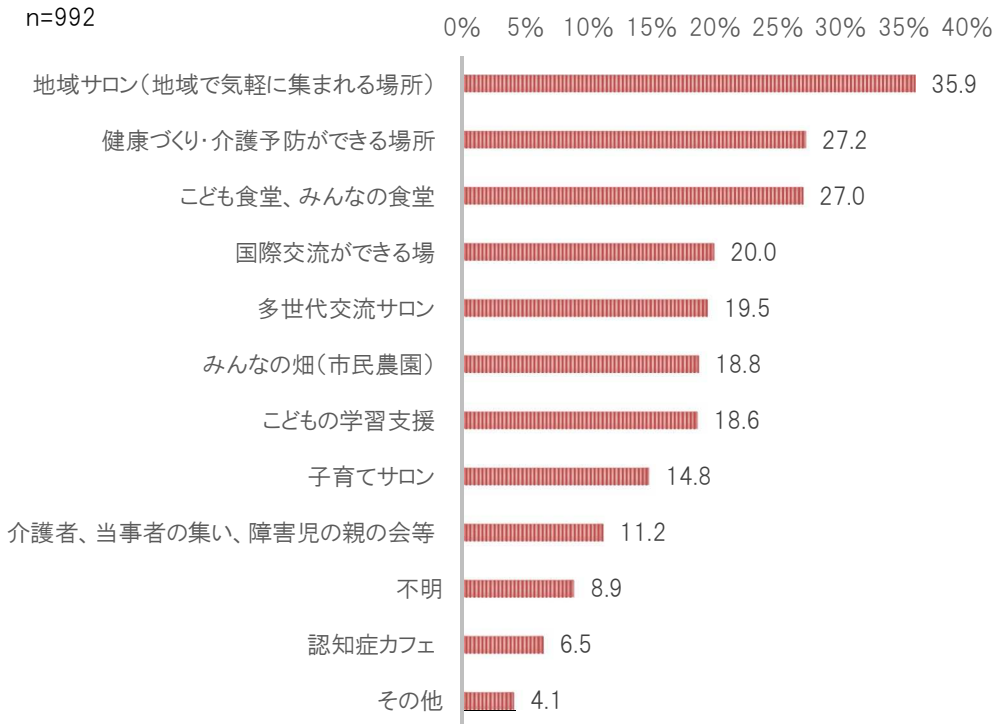
【コメント】

住みよい地域となるために今後充実すると良いことについてみると、「隣近所でのあいさつ・声かけ」が48.5%で最も高く、次いで「高齢者世帯の安否確認・見守り」44.5%となっています。

居住エリア別にみると「市場」、「鶴見中央」、「生麦」、「馬場」CPエリアにおいて高齢者や障がい者に関する割合が高く、「潮田」、「矢向」CPエリアにおいてコミュニティ形成に関する項目の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては、「防犯カメラ、防犯灯を増やす」、「子どもの下校時の安全見守り」、「現在の地域の問題点がわかっていない」といった意見があげられました。

⑧-4 地域の中で、あったらいいと思う交流の場について教えてください。(〇は3つまで)  
(複数回答)

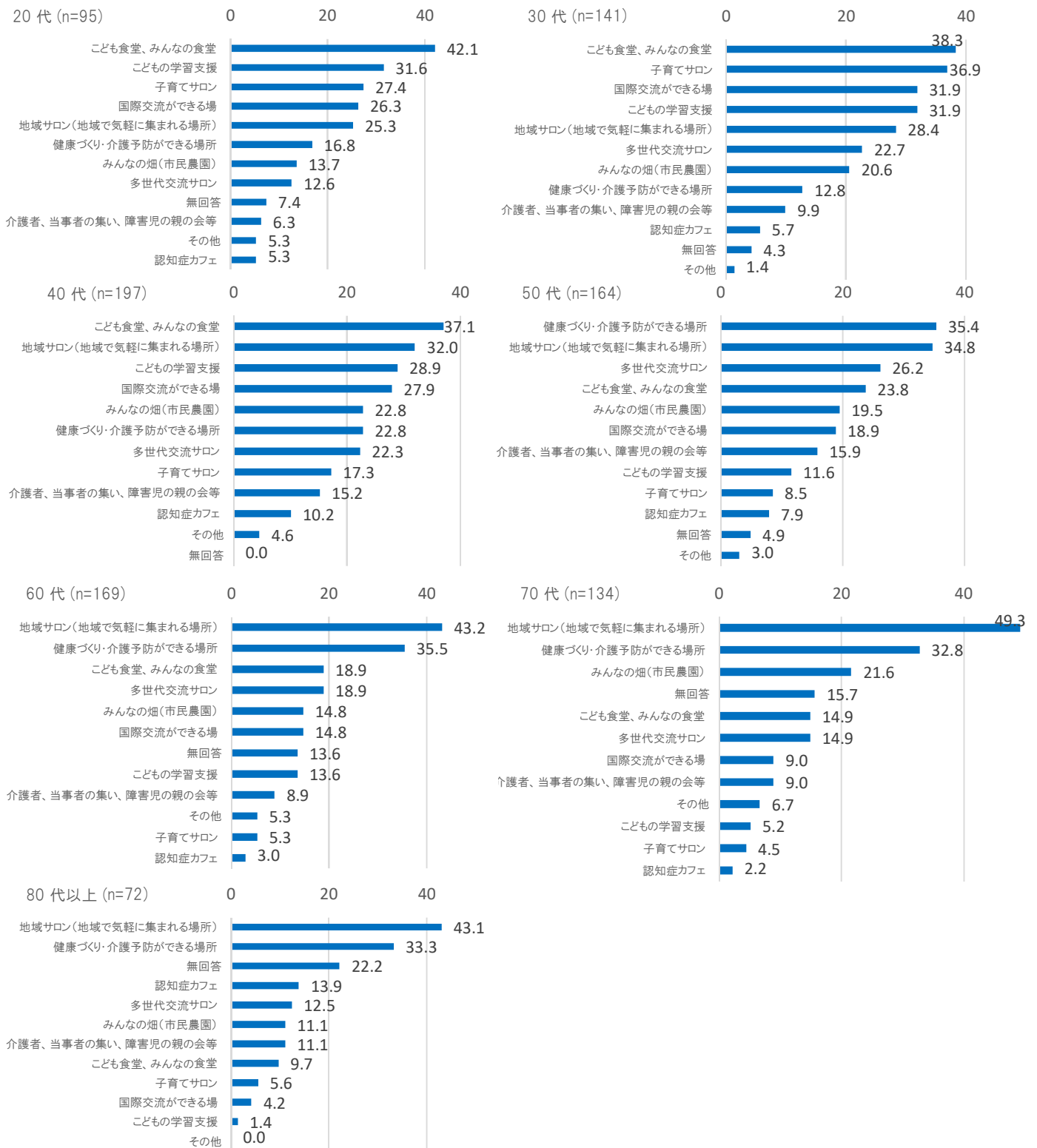


〇【参考】9 エリアごとのあったらいいと思う交流の場の内容 [クロス分析⑧-4×居住地区]

	合計	地域サロン(地域で気軽に集まれる場所)	多世代交流サロン	子育てサロン	こども食堂、みんなの食堂	こどもの学習支援	健康づくり・介護予防ができる場所	介護者、当事者の集い、障害児の親の会等	認知症カフェ	国際交流ができる場	みんなの畑(市民農園)	その他	無回答
全体	100.0	35.9	19.5	14.8	27.0	18.6	27.2	11.2	6.5	20.0	18.8	4.1	8.9
潮田	100.0	39.3	24.8	15.4	28.2	17.1	29.9	9.4	6.0	20.5	23.9	1.7	8.5
矢向	100.0	41.8	22.8	12.7	30.4	12.7	30.4	19.0	5.1	16.5	25.3	1.3	7.6
寺尾	100.0	36.6	12.9	11.9	22.8	18.8	23.8	9.9	5.9	29.7	12.9	6.9	10.9
東寺尾	100.0	38.4	18.2	13.1	26.3	18.2	27.3	9.1	3.0	19.2	17.2	5.1	9.1
駒岡	100.0	39.4	18.1	11.3	25.0	15.0	27.5	11.9	7.5	12.5	21.3	3.8	10.6
市場	100.0	29.7	25.0	20.3	28.9	21.9	25.8	10.9	10.2	23.4	18.0	4.7	7.8
鶴見中央	100.0	30.5	17.0	17.0	29.8	18.4	28.4	12.1	5.0	16.3	14.9	3.5	10.6
生麦	100.0	46.2	20.5	15.4	23.1	30.8	35.9	10.3	15.4	17.9	7.7	0.0	0.0
馬場	100.0	30.0	18.8	18.8	31.3	23.8	20.0	7.5	6.3	28.8	18.8	5.0	6.3
無回答	100.0	33.3	14.6	10.4	18.8	18.8	27.1	12.5	2.1	18.8	25.0	10.4	10.4

※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶされています。

## ○年代ごとの「あったらいいなと思う交流の場」の内容 [⑧-4×年代]



## 【コメント】

あったらいいなと思う交流の場についてみると、「地域サロン」が 35.9%で最も高く、次いで「健康づくり・介護予防ができる場所」27.2%、「子ども食堂・みんなの食堂」27.0%となっています。

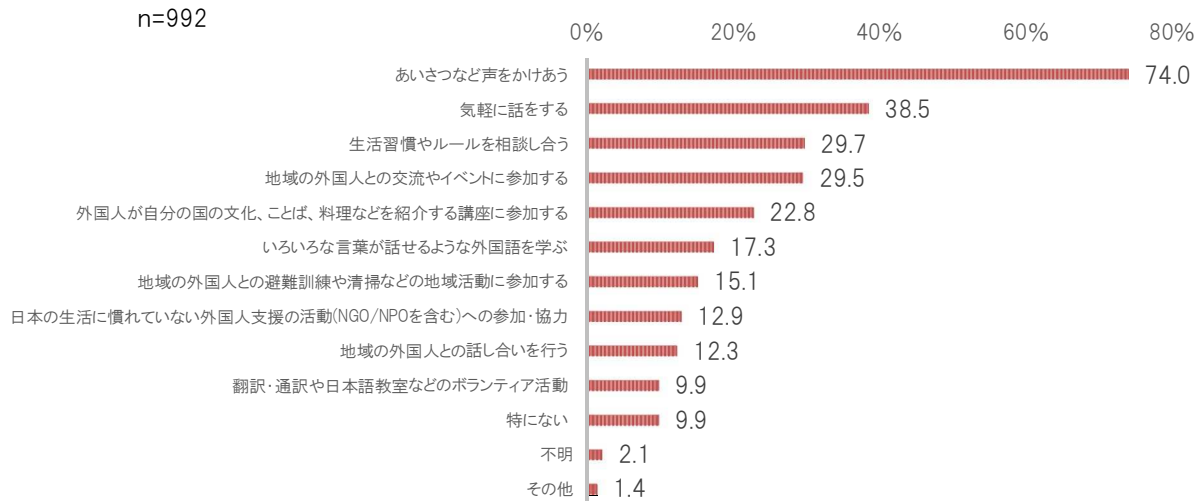
居住エリア別にみると、「地域サロン」、「健康づくり・介護予防ができる場所」では生麦 CP エリアの割合が高く、「子ども食堂・みんなの食堂」では馬場 CP エリアが高くなっています。また、寺尾 CP エリアにおいて「国際交流のできる場」の割合が高くなっています。

年代別にみると、20代、30代、40代は「子ども食堂、みんなの食堂」の割合が高く、50代では「健康づくり・介護予防ができる場所」、60代以上では、「地域サロン」が最も高い状況でした。

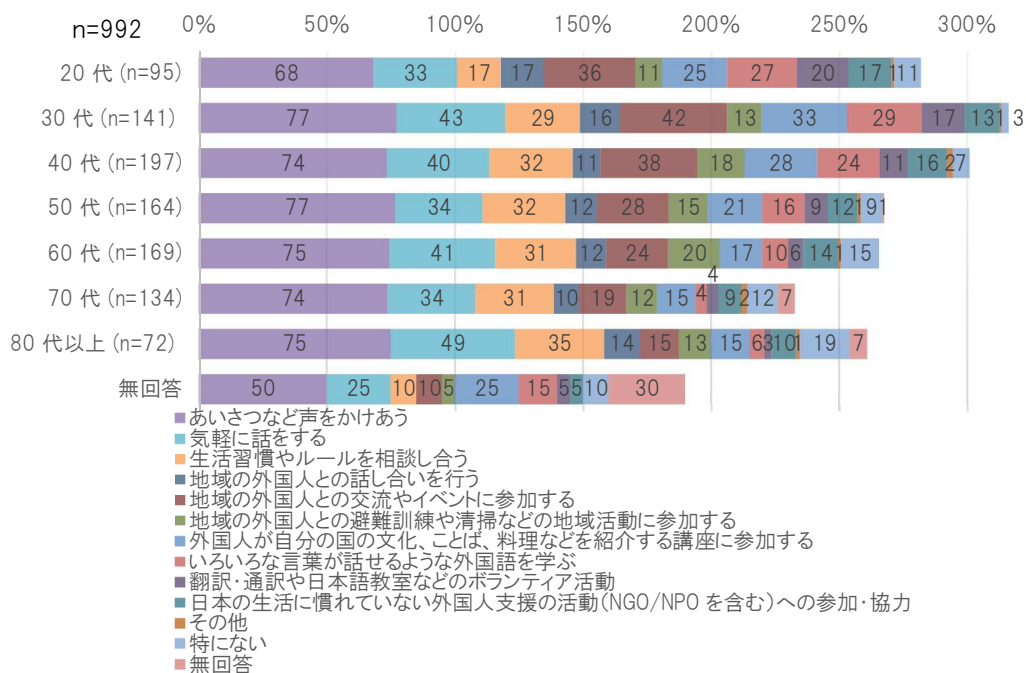
「その他」の意見としては、「地域ケアプラザの活用」、「植物の多い公園」、「公園のある地域サロン」といった意見があげられました。

## 9. 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて

⑨-1「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を「多文化共生社会」といいます。「多文化共生のまちづくり」を進めるために、あなたは何かできると思いますか？(〇はいくつでも)(複数回答)



〇年代ごとの、多文化共生のまちづくりを進めるために、自分ができると思うこと クロス分析  
[⑨-1×年代]

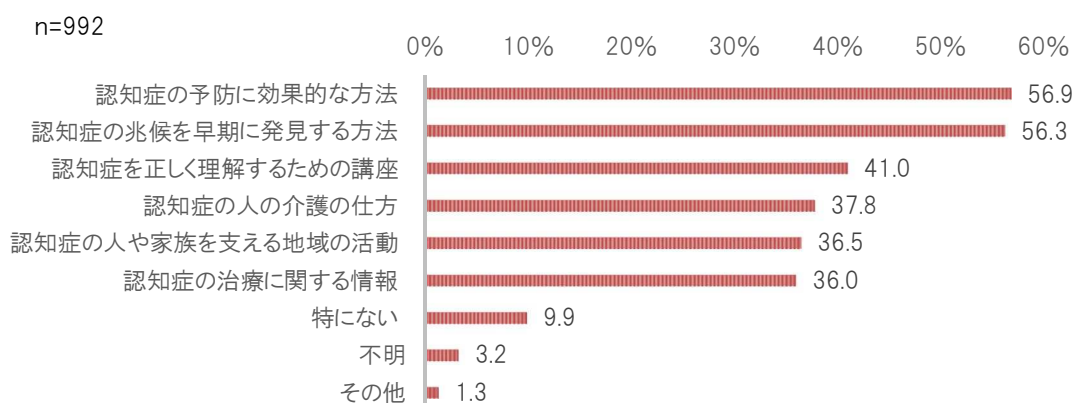


### 【コメント】

「多文化共生のまちづくり」を進めるためにできることとしては、「あいさつなど声をかけあう」が74.0%で最も高く、次いで「気軽に話をする」38.5%、「生活習慣やルールを相談し合う」29.7%となっています。年代別にみると、若い世代において「地域の外国人との交流やイベントに参加する」の割合が高くなっています。「その他」の意見として、「料理を通じた交流」、「翻訳活動」、「日本人に外国の文化を知ってもらおう」といった意見があげられました。



⑨-2 鶴見区では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な取組を行っています。あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか。(〇はいくつでも)(複数回答)



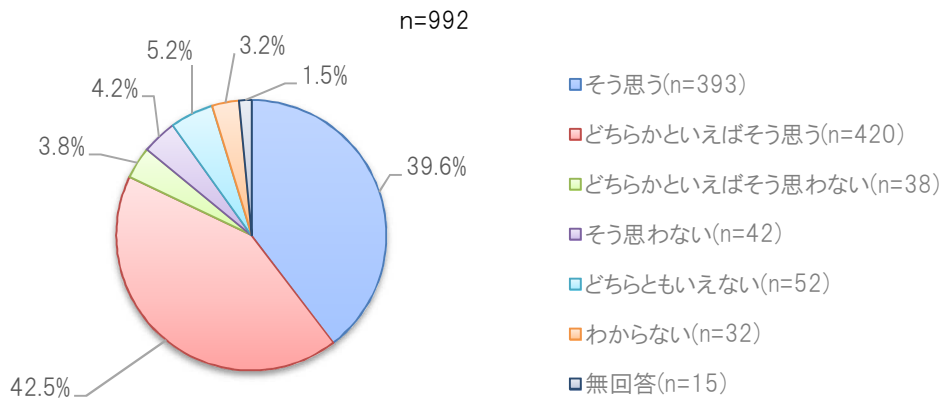
**【コメント】**

認知症への関心についてみると、「認知症予防に関する効果的な方法」が 56.9%で最も高く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が 56.3%となっています。

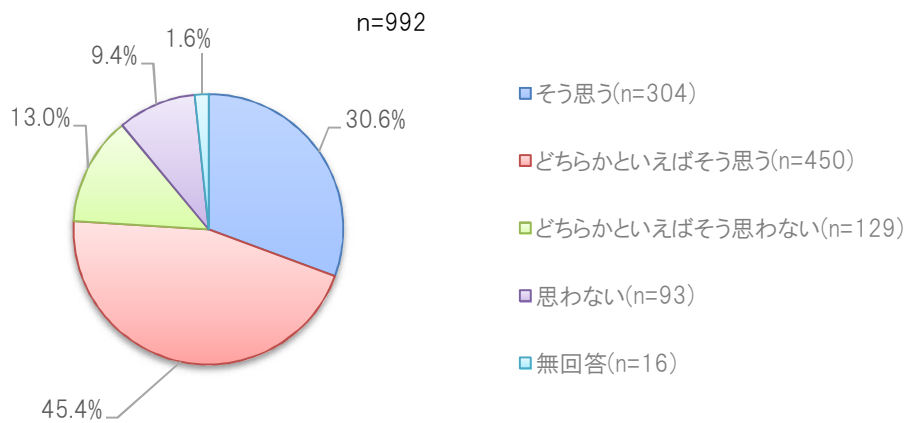
「その他」の意見として、「施設への入居方法」や「介護施設や医療施設の充実」といった意見があげられました。

## 10. 心と体の健康などについて

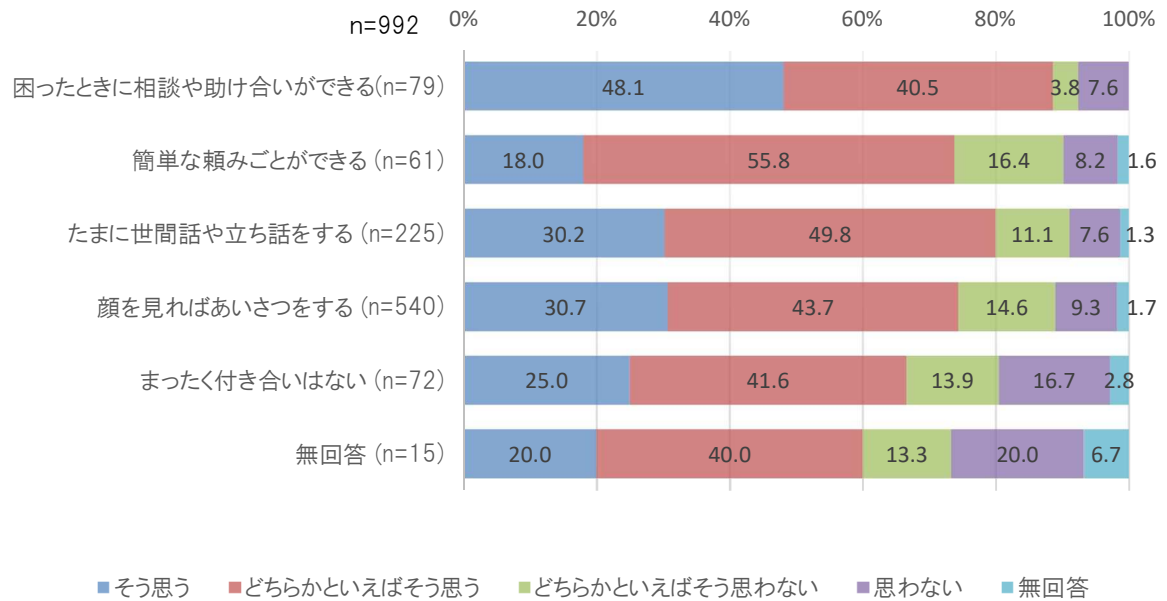
### ⑩-1 あなたは今幸せだと思いますか？(単数回答)



### ⑩-2 あなたはご自身のことを健康だと思いますか？(単数回答)



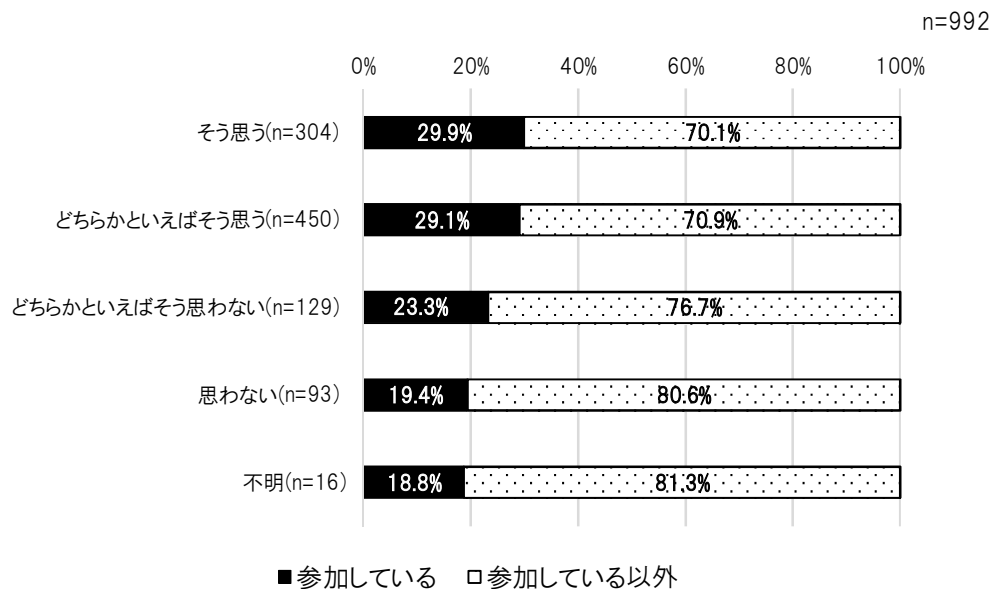
○近所付き合いの程度ごとの健康観 クロス分析[⑩-2×③-1]



【コメント】

近所付き合いの程度と健康観についてみると、「困ったときに相談や助け合いができる」において、「健康だと思う」人の割合が48.1%と最も高くなっています。

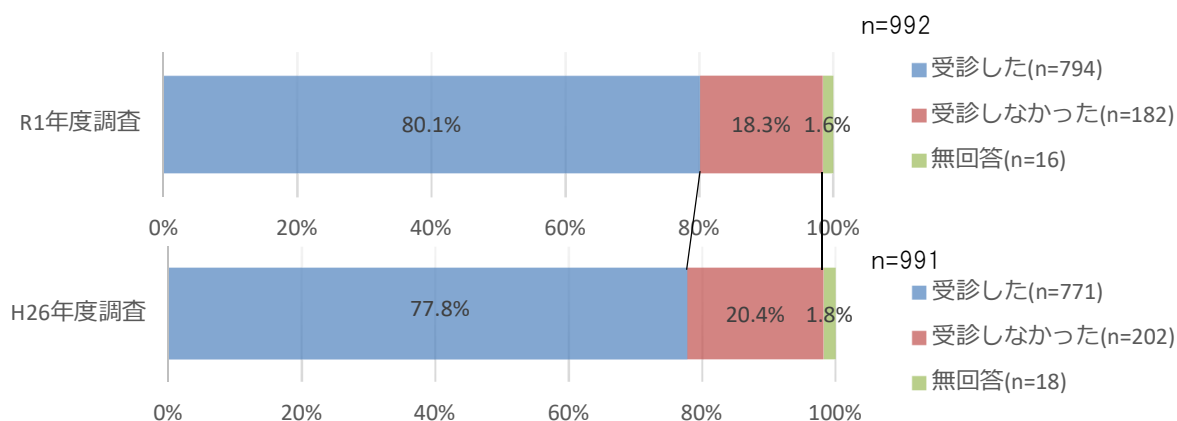
○健康観ごとの、地域活動参加状況 [⑩-2×⑥-1「何らかに参加している」]



【コメント】

健康観について、「健康又はどちらかという健康」という人は76%ありました。健康観と活動への参加状況についてみると、健康と思う人ほど活動への参加率が上昇する傾向にあります。

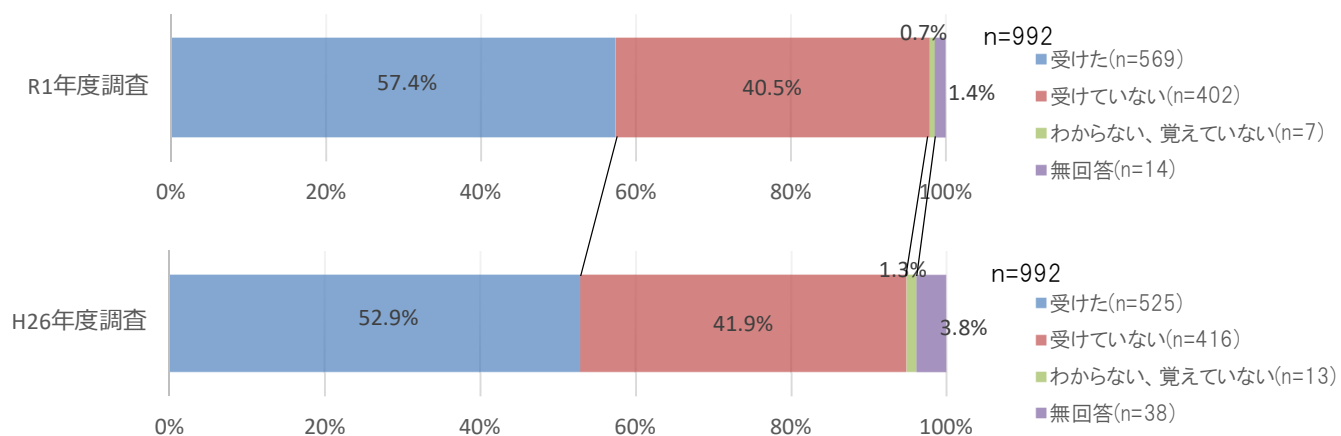
⑩-3 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか？(単数回答)



【コメント】

健康診断の受診状況について、80.1%の人が受診しています。H26年度と比較すると2.3%増加しています。

⑩-4 あなたはこの1年間に歯科健診を受けましたか？(単数回答)



【コメント】

歯科健診の受診状況について、57.4%の人が受診しています。H26年度と比較すると4.5%増加しています。

## 第3章 第4期鶴見区地域福祉保健計画」の策定にむけた考察

### 1. 「つながりのある地域づくり」にむけた考察

住民同士のあいさつや声かけ、住民の地域での活動への参加は、世代やその地域に住む期間に関係なく、地域の中で顔の見える関係づくりにつながります。顔の見える関係を構築し、住民や関係機関が一緒になって、地域の課題を解決していくことが重要です。

ここでは「つながりのある地域づくり」に向けた考察を行います。

#### (1) 近隣との関わりについて

日頃の近所の人との付き合いの程度についてみると、「顔を見ればあいさつをする」が約半数を占めています。「簡単な頼みごとができる、困ったときに相談や助け合いができる」人は14%にとどまります。また、若い年代ほど近所との関わりが薄い傾向が見られます。

近所の人との希望する付き合い方についてみると、「顔を見ればあいさつをする」は36%にとどまり、「たまに世話話や立ち話をする、簡単な頼みごとができる、困ったときに相談や助け合いができる」という関係を希望する人が約35%あり、近所付き合いを深めたいと考えている傾向がうかがわれます。

若い世代の近所付き合いを進め、近所付き合いを進めるための取組について、さらなる活性化が求められます。

#### (2) 地域活動への参加状況について

地域における活動への参加状況についてみると、全体の27.5%の人がなんらかの活動に参加しています。男女別にみると女性が30.8%、男性24.1%と女性が高くなっています。年代別では、80代以上が37.5%と最も高く、次に40代33.5%、30代31.2%となっています。

「どのような状況であれば参加がしやすくなるか」ということについては、「気軽に参加できる活動がある」が61.8%で最も高く、次いで「活動場所が近くにある」53.3%となっています。

身近な場所で気軽に参加できる活動を行うことで、参加者を増やしていくことが必要です。

### 2. 「必要な人に支援が届くしくみづくり」にむけた考察

地域全体で日頃からの見守り、支えあいの仕組みづくりを進めておくことで、支援を必要とする人につなげることができます。支援を必要としているが、自ら情報を発信しない人へのアプローチやいざというときに助け合うことができる仕組みづくりを進める必要があります。

ここでは、「必要な人に支援が届くしくみづくり」について考察します。

#### (1) 地域活動の認知度について

地域の福祉活動推進のため、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、地域ケアプラザといった人や場所があります。これらの認知度(ある程度以上知っている)についてみると、民生委員・児童委員については38.5%、地区社会福祉協議会は16.1%、地域ケアプラザは45.9%となっています。若い年代ほど認知度が低くなっています。情報発信を行い全体の認知度を上げていく必要があります。

地域の情報を知る方法としてこれから利用したいものについては、「回覧板」が43.5%と一番高く、次いで「広報よこはま」38.9%、「掲示板」36.2%となっています。全体への周知として、これらの媒体における情報発信を強化することが有効と考えられます。また、20代から40代については「SNS」や「人からの口コミ」の割合が高くなっており、これらの手法を取り入れた情報発信が必要で

#### (2) 地域で必要と考える支援について

近所の方に手伝いをしてもらいたいことがあるかということについては、「特にない」が55.9%で最も高く、次いで「災害時の避難の手助け」27.1%、「安否確認の声かけ」15.4%となっています。

近所の方へどのような手伝いができるかということについては、「安否確認の声かけ」が49.5%と最も高く、次いで「災害時の避難の手助け」38.5%となっています。「支援してほしいこと」と「支援できること」が同じ内容で高い割合となっています。相互に助け合いができる取り組みとして、地域づくりの活動として推進していくことが有効と考えられます。

「地域における取組として充実すると良い」と思うことについては、「隣近所でのあいさつ・声かけ」が48.5%と最も高く、次いで「高齢者世帯への安否確認・見守り」44.5%、「様々な世代の方が気軽に過ごせる場所」34.1%となっています。

また、「あったらいいと思う交流の場所」については、「地域サロン(地域で気軽に集まれる場所)」が35.9%で最も高く、次いで「健康づくり・介護予防ができる場所」27.2%、「子ども食堂、みんなの食堂」27.0%となっています。

隣近所とのつながりをまず持ち、支援が必要な人へのプッシュ型のアプローチを充実させるとともに、支援を必要とする人を受け入れる体制を構築していく必要があります。

### (3) 社会変化への対応について

近年の社会変化の特徴として、高齢化社会や多文化共生社会の進展があります。これらに対する住民の考えとして、まず「多文化共生のまちづくりに必要なこと」については、「あいさつなど声をかけあう」が74.0%と最も高く、次いで「気軽にあいさつをする」38.5%、「生活習慣やルールを相談し合う」29.7%となっています。まずは「あいさつ」からという状況ですが、そのためにも生活習慣やルールについて相互に理解することが必要です。

また、高齢化社会の進展に伴うこととして「認知症への関心」については、「認知症予防」が56.9%と最も高く、次いで「認知症の早期発見」56.3%、「認知症への正しい理解」41.0%となっています。「その他」の意見の中には、「施設への入居方法」や「介護施設や医療施設の充実」といった意見がありました。これらのことに関する情報発信やセミナーの開催など行っていく必要があります。

## 3. 「健やかに暮らせる地域づくり」にむけた考察

誰もがいきいきと充実した、心身ともに健康な生活を送れることが大切です。高齢化社会や多文化共生社会の進展への対応が必要となっています。

ここでは、「健やかに暮らせる地域づくり」にむけた考察を行います。

### (1) 住民の状況について

心と体の健康状態についてみると、「幸せだと思う」人の割合は82.1%、「健康だと思う」は76%となっています。

社会的、精神的な孤立感についてみると、同居家族以外との交流頻度については、「週に1回以上」が44.7%となっています。また、相談できる人の有無についてみると、「相談する相手はいない」は0(ゼロ)%でした。相談先としては、「配偶者」が52.4%と最も高く、次いで「友人・知人」51.7%となっています。

地域とのつながりを持ち、友人・知人ができることで、社会的、精神的な孤立感をなくしていくことができます。地域における健康づくりへの取組への参加や定期的な健診受診を促進することは健康な人を増やすことにつながります。地域においてこれらの取組を推進する必要があります。

## ■ 資料編

○アンケート調査票(別添)